

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事

図面リスト							
図面番号	図面名	A1	A3	図面番号	図面名	A1	A3
A-01	表紙・図面リスト	no. scale	no. scale	S-01	構造設計特記仕様	no. scale	no. scale
A-02	建築工事特記仕様書（その1）	no. scale	no. scale	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	no. scale	no. scale
A-03	建築工事特記仕様書（その2）	no. scale	no. scale	S-03	鉄骨構造標準図（1）	no. scale	no. scale
A-04	建築工事特記仕様書（その3）	no. scale	no. scale	S-04	鉄骨構造標準図（2）	no. scale	no. scale
A-05	建築工事特記仕様書（その4）	no. scale	no. scale	S-05	スウェーデン式サウンディング試験 位置図・結果表	S=1/100	S=1/200
A-06	建築工事特記仕様書（その5）	no. scale	no. scale	S-06	基礎伏図・梁伏図	S=1/50	S=1/100
A-07	建築工事特記仕様書（その6）	no. scale	no. scale	S-07	軸組図	S=1/50	S=1/100
A-08	建築工事特記仕様書（その7）	no. scale	no. scale	S-08	架構図	S=1/20 S=1/30	S=1/40 S=1/60
A-09	建築工事特記仕様書（その8）	no. scale	no. scale	E-01	電気設備工事特記仕様書	no. scale	no. scale
A-10	建築工事特記仕様書（その9）	no. scale	no. scale	E-02	電灯コンセント設備図	S=1/50 S=1/100	S=1/100 S=1/200
A-11	付近見取図・配置図	S=1/100	S=1/200	M-01	機械設備工事特記仕様書	no. scale	no. scale
A-12	仕上表・面積表・平面詳細図・立面図	S=1/50 S=1/100	S=1/100 S=1/200	M-02	給水・換気設備図	S=1/50	S=1/100
A-13	断面詳細図・展開図	S=1/30 S=1/50	S=1/60 S=1/100	G-01	外構撤去図	S=1/100	S=1/200
A-14	屋根伏図・天井伏図・建具表	S=1/50 S=1/100	S=1/100 S=1/200	G-02	外構図	S=1/100	S=1/200

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 福満設計
CO. LTD. F. ARCHITECTS. & ENGINEERS
鹿児島県鹿屋市寿八丁目10-10 / TEL. 0994-42-3867 FAX. 0994-42-3885

鹿児島県知事登録 第1-6-8号
管理建築士
一級建築士 福満哲也
登録番号 第96581号

検 図 設 計 担 当 構 造 製 図 工事名
図 名

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事 設計図

表紙・図面リスト

DATE

2026.02

No.

A-01

縮尺

no. scale

4 地業工事 続 (8)	3 既製コンクリート杭地業(続き)	施工方法 [4.3.2] ・セメントミルク工法 [4.3.4] アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・ 図示 杭の支持地盤への掘入れ深さ ・ 図示 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・ 1/100以内	4 地業工事(続き)	5 場所打ちコンクリート杭地業 杭径、長さ、仕様等 ・ 図示による() [4.2.2] [4.5.1] [4.5.4~6] 材料その他 帯筋の加工及び組み立て ・ 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 図示による 鉄筋かごの補強 組み立てた鉄筋の節ごとの継ぎ手 ・ 重ね継手 重ね継手の長さ ・ 図示による 主筋の基礎底盤への定着長さ ・ 図示による セメントの種類 ※高炉セメントB種 [6] コンクリートの種類 [4.5.4] [6.3.1] ・ A種 ・ B種 ・ 評定等の内容による [4.5.4] [表4.5.1] コンクリートの設計基準強度 () N/mm ² [4.5.4~6] スラブ ・ ※18cm 構造体強度補正値 (S) [4.5.4] ・ () ・ 3N/mm ² ・ 評定等の内容による	5 鉄筋工事(続き)	3 鉄筋の継手 継手方法等 [5.3.4] [5.5.2,3] 部 位 継手方法 呼び名 柱、梁の主筋 ※ガス圧接・機械式継手・溶接継手・重ね継手 耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 その他の鉄筋() ※重ね継手 耐力壁の重ね継手の長さ [5.3.4] ・ 図示による() 継手位置図 ・ 図示による() 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・ 図示による() 鉄筋の定着長さ [5.3.4] ・ 図示による() ・ 図示による() ・ 機械式定着工法 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) [5.3.5] 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ・ 図示による() ・ 図示による() 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・ 無し ・ 有り 適用箇所() 主筋のかぶり厚さ ※鉄筋径の1.5倍以上 軽量コンクリートを使用する場合 ・ 有り 適用箇所() ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ() mm 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ 無し ・ 有り 適用箇所() ・ 図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)表4.11に加える厚さ() mm) 鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) [5.3.5] [図5.3.6] ・ 図示による() ・ 図示による()	6 ① コンクリートの種類及び強度 [6.2.2] 普通コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²) 設計基準強度 適用箇所 ・ 24 ○21 基礎、基礎梁、立上り壁 ・ ・ ・ 構造体強度補正値 (S) ※標仕 表6.3.2による スラブの位置(単位:cm) [6.2.4] [表6.2.2] 打込み箇所 基礎、基礎梁、土間スラブ 柱、梁、スラブ、壁 所要スラブ 15、18 18 類別 ※I類 ・ II類 [6.2.1] [表6.2.1] ② レディーミクストコンクリートの類別 [6.2.1] [表6.2.1] ③ セメント [6.3.1] [表6.3.1] 種類 ○普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。) 施工箇所() ・高炉セメントB種 [6] 施工箇所() ・フライアッシュセメントB種 [6] 施工箇所() ④ 骨材 [6.3.1] アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B ⑤ 混和材料 [6.3.1] ・ 混和剤の種類 混和剤の種類 ※標仕 6.3.1(4)(a)による ・ 混和材 [6.3.1] 混和材の種類 ※標仕 6.3.1(4)(b)による ⑥ 気乾単位容積質量 [6.2.3] [6.10.1] 普通コンクリート ・ 2.3t/m ³ 程度 ⑦ マスコンクリート [6.13.2] セメントの種類 ・高炉セメントB種 [6] ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 [6] ・シリカセメント 適用箇所 ・ 図示による() ⑧ 無筋コンクリート [6.14.1] コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 適用箇所 [6.14.1] ・ 標仕 6.14.1(4)による箇所 ・ 標仕 6.14.1(4)以外の箇所 ・ 図示による() 設計基準強度 ※18N/mm ² スラブ ※15cm又は18cm ⑨ ひび割れ誘発目地打腫目地 [6.6.4] [6.8.1] [9.7.3] 打腫目地 ・ 標仕 6.6.4(1)による ・ 図示による() 目地寸法 ・ 標仕 8.7.3による ・ 図示による() 間隔、位置、形状 ・ 図示による() ⑩ コンクリートの仕上げ [6.2.5] [6.8.2] [表6.2.4] 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による コンクリートの仕上げの平たんさ 種 別 適用箇所 ・ a種 ○b種 ・ c種 ⑪ 打増し厚さ(打放し仕上げ部) [6.8.2] ○打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ○20mm ・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ⑫ 型枠 [6.8.2] ・ 外壁タイル張り、WCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は、外部側に20mmの打増しを行う せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm) [6] 断熱材を兼用した型枠材の使用 ・ 行う 適用箇所() ・ 行わない スリーブの材質・規格等 ※標仕 6.8.2(9)(f)、(g)による
		・特定埋込杭工法 [4.3.5] ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 図示による() ・上記以外の特定埋込杭工法 図示による() 工法 ・プレローリング拡大掘削工法 ・中掘り拡大掘削工法 杭周囲固定 ・使用する ・使用しない 杭の支持層への掘入れ深さ ・ 図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による 杭の傾斜 ※評定等の評価内容による 杭継手工法 [4.3.2, 6] [7.2.5] ・アーク溶接継手 ・ 標仕 4.3.6による 溶接材料 ・ 標仕 7.2.5(1)(2)による ・ 図示による() ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 (・ 図 による) 検査 ※評定等により定められた項目 (・ 図 による) 施工 ※評定等をされた施工管理基準による (・ 図 による) 杭頭処理 [4.3.8] ・ 行う 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による() ・ 行わない 杭頭の中詰め材料 [4.3.8] ※基礎のコンクリートと同調合のもの 種類の記号 [4.4.2] [4.4.3~6] ・ SKK400 ・ SKK490 杭の種類、寸法、継手等 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う 試験杭の位置、本数 ※最初の本 図示による() 施工方法 [4.4.1] ・特定埋込杭工法 [4.3.5] ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 図示による() ・上記以外の特定埋込杭工法 図示による() 工法 ・中掘り拡大掘削工法 杭の支持層への掘入れ深さ ※評定等の評価内容による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による 杭の傾斜 ※評定等の評価内容による 杭の現場継手 [4.4.5] ・アーク溶接継手 形状 ・ JIS A 552Sによる 溶接材料 ・ 標仕 7.2.5(1)(2)による ・ 図示による() ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 (・ 図 による) 検査 ※評定等により定められた項目 (・ 図 による) 施工 ※評定等をされた施工管理基準による (・ 図 による) 杭頭処理 [4.4.6] ・ 行う 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による() ・ 行わない 杭頭の中詰め材料 [4.4.6] ※基礎のコンクリートと同調合のもの					

<p>⑦ 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場</p> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者</p> <p>③ 鋼材</p> <p>④ 高力ボルト</p> <p>⑤ 普通ボルト</p> <p>6 溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>⑦ アンカーボルト</p> <p>⑧ 溶接材料</p> <p>⑨ ターンバックル</p>	<p>鉄骨製作工場の加工能力 [7.1.3]</p> <p>※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める()グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場・監督職員の承諾する工場(標仕7.1.1以外の適用範囲に限る。)</p> <p>・配置する ・配置しない [7.1.4]</p> <p>材料等 [7.2.1] [表7.2.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示による()</td> <td>※JISによる</td> <td>・大臣認定による</td> </tr> </tbody> </table> <p>有効細長比(圧縮材に限る) ※図示による</p> <p>高力ボルトの区分 [7.2.2] [7.3.2] [7.4.1~9]</p> <p>・トルシア形高力ボルト ○JIS形高力ボルト セットの種類 ※2種(F10T)</p> <p>高圧ボルトの径 ○図示による()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2]</p> <p>○図示による</p> <p>摩擦面の処理方法 ○標仕7.4.2(1)による</p> <p>すべり係数試験 [7.4.2]</p> <p>※行わない ・行う 試験方法等 ・図示による()</p> <p>ボルト及びナットの材料 [7.2.3] [7.3.2] [7.3.8]</p> <p>※標仕 表7.2.3 (JIS附属書品)による ・標仕 表7.2.3 (JIS附属書品)又は、JIS本体規格品(ISO規格)による。(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。)</p> <p>産金 ※標仕 7.2.3(4)による</p> <p>ボルトの径 ・図示による()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2]</p> <p>・図示による</p> <p>セットの種類 [7.2.2] [7.12.4, 5]</p> <p>※1種(F8T相当)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・図示による()</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 [7.3.8]</p> <p>・大臣認定を受けた内容による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2]</p> <p>・図示による</p> <p>摩擦面の処理 [7.12.5]</p> <p>・プラスト処理(表面粗度50µmR2以上)又は、リン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は、すべり係数の確認を行う。 ※すべり係数試験 試験方法等 ・「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による</p> <p>適用 [7.2.4] [表7.2.3]</p> <p>・構造用アンカーボルト ・ABR400 セットの種類(JIS B 1220) ・ABR490 セットの種類(JIS B 1220) ・SNR400B アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標仕 表7.2.31による</p> <p>形状、寸法 ・図示による()</p> <p>・建方用アンカーボルト 材質 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標仕 表7.2.31による</p> <p>形状、寸法 ・図示による()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2]</p> <p>・図示による()</p> <p>溶接材料 [7.2.5]</p> <p>※標仕 7.2.5(1) (2)による ・標仕 7.2.5(1) (2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による()</p> <p>種類 [7.2.6]</p> <p>建築用ターンバックル鋼 ※割付式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ・図示による()</p>	種類の記号	適用箇所	規格	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による	<p>⑦ 鉄骨工事(続き)</p> <p>10 床構造用デッキプレート [6.8.2] [7.2.7]</p> <p>材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・デッキプレート単独の構法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>床型枠用を使用する場合において、受注者は施工に先立ち施工の安全性を確認すること。 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・図示による()</p> <p>鉄骨部材への溶接方法 ・図示による()</p> <p>耐火認定 ・有り 耐火時間 ・図示による() ・無し</p> <p>11 スタッド [7.7.8]</p> <p>材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-22</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑫ 柱底均しモルタル [7.2.9]</p> <p>モルタルの種類 ・無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※標仕 表7.2.9(2) (7)から(1)による ・標仕 表7.2.9(1)によるモルタル</p> <p>⑬ 工作用 [7.3.2]</p> <p>監督職員による現寸検査 ・行わない ・行う 増築工費等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ、作成を行う。</p> <p>⑭ 製作精度 [7.3.3]</p> <p>鉄骨の製作精度は、JISS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違い寸法 ※H12建令第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建令第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」</p> <p>15 鉄骨の仮組 [7.3.10]</p> <p>・行わない ・行う 仮組を行う範囲 ・図示による()</p> <p>16 溶接技術者の技量付加試験 [7.6.3]</p> <p>試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ・図示による()</p> <p>⑰ 溶接接合 [7.6.4]</p> <p>開先形状 ・図示による()</p> <p>スカラップの形状 [7.6.7]</p> <p>・図示による()</p> <p>エンドタブの切断する部分 [7.6.7]</p> <p>・全て ・見え掛り部となる部分 ・切断する部分なし</p> <p>切断する範囲 ・エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の残し寸法は、5mm以下とする。なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p> <p>⑱ 現場溶接の有無 [7.6.7] [7.6.10]</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による()</p> <p>適用箇所 ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・図示による()</p> <p>⑳ 溶接部の試験 [7.6.12] [表7.6.2] [表7.6.3]</p> <p>完全溶込み部の超音波深傷試験 [7.6.12] [表7.6.2] [表7.6.3]</p> <p>・行わない ※行う ・工事溶接の場合 ・全数検査 ・抜取検査 AOQL(%) ・4.0 ・2.5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>全て</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査水準</td> <td>・第6水準</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・工事現場溶接の場合 ・全数検査 ・計数連続生産型抜取検査 AOQL(%) ・4.0 ・2.5</p> <p>突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査 「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル(建築研究所監修)」による ・抜き取り検査 ① ※抜き取り検査 ②</p> <p>JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同ーとする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p>	適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート単独の構法			・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	-16			-19			-22			部	全て			検査水準	・第6水準	・	・	<p>⑦ 鉄骨工事(続き)</p> <p>⑳ 錆止め塗装 [7.8.4] [18.3.2]</p> <p>塗料の種類 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面の錆止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限る) ※標仕 表18.3.1 A種 ・塗装を行う耐火被覆材の接着する面 適用箇所 ・図示による() 塗料の種類 ・標仕 表18.3.1 ()種 ・標仕 表18.3.2 ()種</p> <p>22 耐火被覆 [7.9.2~8]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム版</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>㉑ 建方精度 [7.10.2]</p> <p>※(一社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度基準」付表5「工事現場」による</p> <p>㉒ アンカーボルト等の設置 [7.10.3] [表7.10.1]</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 種別 ・図示による() 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 [7.10.3] [表7.10.2] ※標仕 表7.10.2 ・A種 モルタル厚さ() ・B種 モルタル厚さ()</p> <p>㉓ 軽量形鋼構造 [7.11.2]</p> <p>接合部(ボルト接合の場合) ・普通ボルト接合 もや、鋼線鋼の取付け用ボルトを普通ボルトと接合する場合は、二重ナットとする。</p> <p>26 溶融亜鉛めっき(構造耐力上主要な部分) [7.12.4] [表14.2.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>亜鉛めっきの種類</th> <th>材 料</th> <th>適用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※高規格品はJIS H 8641による</p> <p>適用箇所 ※図示による()</p> <p>27 梁貫通孔の補強</p> <p>補強方法 ・補強プレート法 ・補強トラス法 適用箇所 ※図示による()</p> <p>B コンクリートブロック・ACパネル 押出成形セメント板工事</p> <p>1 補強コンクリートブロック造 [8.2.2, 3, 5, 8]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ(mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法(mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※空調ブロック(16)</td> <td>・120</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※150</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタルの調合(容積比) ・セメント() : 砂() 各部の配筋 ※図示 モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ※図示</p> <p>2 コンクリートブロック帳壁及び端 [8.2.2, 3, 4]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ(mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法(mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">(表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・空調ブロック(16)</td> <td>・120</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型枠状ブロック 20</td> <td>・120</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※150</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>端の厚さ ・ 端の高さが2m以下 ・120 端の高さが2m超え ・150 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示 各部の配筋 ※図示 化粧目地の有無 ・無 ・有 工法 コンクリートブロック積層壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造重壁とする</p>	種別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム版			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張り				・モルタル塗り	—			・耐火塗料				亜鉛めっきの種類	材 料	適用部位	A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板		断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	※空調ブロック(16)	・120	※400	※200	※無 ・有				※150	・	・	※無 ・有			断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考	長さ	高さ	・空調ブロック(16)	・120	※400	※200	※無 ・有			・型枠状ブロック 20	・120	※400	※200	※無 ・有			・	※150	・	・	※無 ・有			<p>8 コンクリートブロック・ACパネル 押出成形セメント板工事(続き)</p> <p>3 ALCパネル [8.4.2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの区分</th> <th>単位荷重(N/m²)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>表面加工</th> <th>構法の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁用</td> <td>・100</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし ・1時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁用</td> <td>・100</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし ・1時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・C種 ・D種 ・E種</td> </tr> <tr> <td>・屋根用</td> <td>・100</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・30分 ・1時間</td> <td></td> <td>・F種</td> </tr> <tr> <td>・床用</td> <td>・100</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1時間 ・2時間</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ※10~20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない</p> <p>4 押出成形セメント板(ECP) [8.5.2~5]</p> <p>外壁、屋根パネルの構法 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>工法の種別</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・外壁パネル</td> <td>・F ・F-R</td> <td>・50</td> <td>・450</td> <td>・A種</td> <td>・30分</td> </tr> <tr> <td>・D ・D-R</td> <td>・100</td> <td>・600</td> <td>・B種</td> <td>・1時間</td> </tr> <tr> <td>・T ・T-R</td> <td>・60</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・2時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・間仕切壁パネル</td> <td>・F ・F-R</td> <td>・50</td> <td>・450</td> <td>・B種</td> <td>・30分</td> </tr> <tr> <td>・D ・D-R</td> <td>・60</td> <td>・600</td> <td>・C種</td> <td>・1時間</td> </tr> <tr> <td>・T ・T-R</td> <td>・100</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・2時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル</p> <p>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 パネル相互の目地幅(mm) ※長辺()、短辺() 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した施工計画書を提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>孔あけ及び欠き込みの大きさ</th> <th>切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パネルに孔あけを設ける場合</td> <td>短辺 ・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下 長辺 ・500mm以下</td> <td>・150mm以下 ・300mm以下</td> </tr> <tr> <td>パネルに欠き込みを設ける場合</td> <td>短辺 ・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下 長辺 ・500mm以下</td> <td>・300mm以下 ・300mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑨ 防水工事 [9.2.2~5] [表9.2.3~9]</p> <p>1 アスファルト防水 [9.2.2~5] [表9.2.3~9]</p> <p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 G</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ※乾式保護材</td> <td rowspan="3">※乾式保護材</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">※フラットヤーンクロス 70g/m²程度</td> <td rowspan="3">・れんが押さえ (JIS R 1250)</td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A1-1</td> <td></td> <td>(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法</td> <td rowspan="3">※フラットヤーンクロス 70g/m²程度</td> <td rowspan="3">・</td> </tr> <tr> <td>・A1-2</td> <td></td> <td>ポリスチレンフォーム断熱材3種A</td> </tr> <tr> <td>・A1-3</td> <td></td> <td>(スキム層付き)</td> </tr> <tr> <td>・B1-1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">(厚さ) ※25mm ・50mm</td> <td rowspan="3">・</td> </tr> <tr> <td>・B1-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B1-3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※標仕 表9.2.3及び標仕 表9.2.4による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※標仕 表9.2.5及び標仕 表9.2.6による 立上り部への断熱材及び絶縁シート ・設置しない ・設置する 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 立上り部の保護方法 ・乾式保護材 素地系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シート状に養生したもの(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p>	パネルの区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別	・外壁用	・100	・	・	・なし ・1時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種	・間仕切壁用	・100	・	・	・なし ・1時間	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種	・屋根用	・100	・	・	・30分 ・1時間		・F種	・床用	・100	・	・	・1時間 ・2時間			パネルの種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	耐火性能	・外壁パネル	・F ・F-R	・50	・450	・A種	・30分	・D ・D-R	・100	・600	・B種	・1時間	・T ・T-R	・60	・	・	・2時間	・間仕切壁パネル	・F ・F-R	・50	・450	・B種	・30分	・D ・D-R	・60	・600	・C種	・1時間	・T ・T-R	・100	・	・	・2時間		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	パネルに孔あけを設ける場合	短辺 ・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下 長辺 ・500mm以下	・150mm以下 ・300mm以下	パネルに欠き込みを設ける場合	短辺 ・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下 長辺 ・500mm以下	・300mm以下 ・300mm以下	種 別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護方法	・A-1			※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ※乾式保護材	※乾式保護材	・A-2			・A-3			・B-1			※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度	・れんが押さえ (JIS R 1250)	・B-2			・B-3			・A1-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法	※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度	・	・A1-2		ポリスチレンフォーム断熱材3種A	・A1-3		(スキム層付き)	・B1-1			(厚さ) ※25mm ・50mm	・	・B1-2			・B1-3		
	種類の記号	適用箇所	規格																																																																																																																																																																																																																																																																													
	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による																																																																																																																																																																																																																																																																													
	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による																																																																																																																																																																																																																																																																													
	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による																																																																																																																																																																																																																																																																													
	※図示による()	※JISによる	・大臣認定による																																																																																																																																																																																																																																																																													
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・デッキプレート単独の構法																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法																																																																																																																																																																																																																																																																															
	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																													
-16																																																																																																																																																																																																																																																																																
-19																																																																																																																																																																																																																																																																																
-22																																																																																																																																																																																																																																																																																
部	全て																																																																																																																																																																																																																																																																															
検査水準	・第6水準	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
種別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																																																																																																																																																													
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																															
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム版																																																																																																																																																																																																																																																																															
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ラス張り																																																																																																																																																																																																																																																																																
・モルタル塗り	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
・耐火塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっきの種類	材 料	適用部位																																																																																																																																																																																																																																																																														
A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																															
B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																															
C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																															
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																										
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																																																																																													
※空調ブロック(16)	・120	※400	※200	※無 ・有																																																																																																																																																																																																																																																																												
	※150	・	・	※無 ・有																																																																																																																																																																																																																																																																												
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モジュール呼び寸法(mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																										
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																																																																																													
・空調ブロック(16)	・120	※400	※200	※無 ・有																																																																																																																																																																																																																																																																												
・型枠状ブロック 20	・120	※400	※200	※無 ・有																																																																																																																																																																																																																																																																												
・	※150	・	・	※無 ・有																																																																																																																																																																																																																																																																												
パネルの区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別																																																																																																																																																																																																																																																																										
・外壁用	・100	・	・	・なし ・1時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																										
・間仕切壁用	・100	・	・	・なし ・1時間	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種																																																																																																																																																																																																																																																																										
・屋根用	・100	・	・	・30分 ・1時間		・F種																																																																																																																																																																																																																																																																										
・床用	・100	・	・	・1時間 ・2時間																																																																																																																																																																																																																																																																												
パネルの種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																											
・外壁パネル	・F ・F-R	・50	・450	・A種	・30分																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・D ・D-R	・100	・600	・B種	・1時間																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・T ・T-R	・60	・	・	・2時間																																																																																																																																																																																																																																																																											
・間仕切壁パネル	・F ・F-R	・50	・450	・B種	・30分																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・D ・D-R	・60	・600	・C種	・1時間																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・T ・T-R	・100	・	・	・2時間																																																																																																																																																																																																																																																																											
	孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																																																																																																																																																																																																																																																														
パネルに孔あけを設ける場合	短辺 ・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下 長辺 ・500mm以下	・150mm以下 ・300mm以下																																																																																																																																																																																																																																																																														
パネルに欠き込みを設ける場合	短辺 ・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下 長辺 ・500mm以下	・300mm以下 ・300mm以下																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護方法																																																																																																																																																																																																																																																																												
・A-1			※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ※乾式保護材	※乾式保護材																																																																																																																																																																																																																																																																												
・A-2																																																																																																																																																																																																																																																																																
・A-3																																																																																																																																																																																																																																																																																
・B-1			※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度	・れんが押さえ (JIS R 1250)																																																																																																																																																																																																																																																																												
・B-2																																																																																																																																																																																																																																																																																
・B-3																																																																																																																																																																																																																																																																																
・A1-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法	※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
・A1-2		ポリスチレンフォーム断熱材3種A																																																																																																																																																																																																																																																																														
・A1-3		(スキム層付き)																																																																																																																																																																																																																																																																														
・B1-1			(厚さ) ※25mm ・50mm	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
・B1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																
・B1-3																																																																																																																																																																																																																																																																																

④ 防水工事 続 (続き)	1 アスファルト防水 (続き)	<p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td rowspan="4">断熱材 9.2.2(9) (種類) (厚さ) ※25mm・50mm</td> <td rowspan="4">・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様</td> <td rowspan="4">・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 ☑ ・有 ※無</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・設ける (※図示) ・設けない</p> <p>防水層下地の立上り ※コンクリート打放し仕上げ 標仕 表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 防水層の下地モルタル塗り ・適用する (施工範囲 ※図示) ・適用しない</p> <p>屋根排水溝 ※図示 施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける</p>	種 別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備 考	種 類	使用量	・D-1		断熱材 9.2.2(9) (種類) (厚さ) ※25mm・50mm	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様		・D-2		・D-3		・D-4		・D1-1						・D1-2						種 別	施工箇所	種 別	施工箇所	・E-1		・E-2	
	種 別	施工箇所				断熱材	仕上塗料		備 考																																	
種 類			使用量																																							
・D-1		断熱材 9.2.2(9) (種類) (厚さ) ※25mm・50mm	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様																																						
・D-2																																										
・D-3																																										
・D-4																																										
・D1-1																																										
・D1-2																																										
種 別	施工箇所	種 別	施工箇所																																							
・E-1		・E-2																																								
2 改質アスファルトシート防水	<p>防水層の種類 [9.3.2.3] [表9.3.1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td rowspan="4">断熱材 9.3.2(3)(9) (種類) (厚さ) ※25mm・50mm</td> <td rowspan="4">・改質アス ファルトシート の製造所の 仕様</td> <td rowspan="4">・改質アス ファルトシート の製造所の 仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-U1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-U1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 ☑ ・有 ※無</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標仕 表9.3.1から表9.3.3による 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※標仕 表9.3.2から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※標仕 表9.3.2から表9.3.3による 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・ 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける</p>	種 別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備 考	種 類	使用量	・AS-T1		断熱材 9.3.2(3)(9) (種類) (厚さ) ※25mm・50mm	・改質アス ファルトシート の製造所の 仕様	・改質アス ファルトシート の製造所の 仕様		・AS-T2		・AS-T3		・AS-T4		・AS-U1						・AS1-U1														
種 別	施工箇所				断熱材	仕上塗料		備 考																																		
		種 類	使用量																																							
・AS-T1		断熱材 9.3.2(3)(9) (種類) (厚さ) ※25mm・50mm	・改質アス ファルトシート の製造所の 仕様	・改質アス ファルトシート の製造所の 仕様																																						
・AS-T2																																										
・AS-T3																																										
・AS-T4																																										
・AS-U1																																										
・AS1-U1																																										

⑤ 防水工事 続 (続き)	3 合成高分子系 ルーフィングシート防水	<p>S1-F1、S1-F2、S-M1及びS-M2の仕様 S1-M1及びS1-M2における防湿フィルム ・設置する ・設置しない S-M2又はS1-M2の立上り部の工法 ・接着工法 立上り部のシート厚さ ・ ※1.5mm ・機械的固定方法</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保 護 層</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の保護 モルタル塗り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-C1</td> <td></td> <td></td> <td>※7mm以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内保護接着工法 平場のモルタル塗りの目地 ・種類 ・目地割 ・図示 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ 「JIS A 6008」に基づく種類及び厚さ 種類 ・ 厚さ ・ ※標仕 表9.4.1から表9.4.3による 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ・ 個 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を 積層加工したもの ・ 接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う (・図示) プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、S1-F1の場合) ・行う (・図示) 機械式固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける</p>	種 別	施工箇所	保 護 層		備 考	平場のモルタル塗り	立上り部の保護 モルタル塗り	・S-C1			※7mm以下																				
	種 別	施工箇所			保 護 層			備 考																									
平場のモルタル塗り			立上り部の保護 モルタル塗り																														
・S-C1			※7mm以下																														
4 塗膜防水	<p>防水層の種類 [9.5.3] [表9.5.1、2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">保 護 層</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・X-1</td> <td></td> <td>・主材料の製造 所の仕様</td> <td>・主材料の製造 所の仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td></td> <td>・主材料の製造 所の仕様</td> <td>・主材料の製造 所の仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>・地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>・屋内防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 ☑ ・有 ※無</p> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ・ 個 ※主材料の製造所の仕様 ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2の工程数及び各工程の使用量 ・ ※主材料の製造所の仕様 施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける</p>	種 別	施工箇所	仕上塗料		保 護 層	備 考	種 類	使用量	・X-1		・主材料の製造 所の仕様	・主材料の製造 所の仕様			・X-2		・主材料の製造 所の仕様	・主材料の製造 所の仕様			・Y-1	・地下外壁防水					・Y-2	・屋内防水				
種 別	施工箇所			仕上塗料				保 護 層	備 考																								
		種 類	使用量																														
・X-1		・主材料の製造 所の仕様	・主材料の製造 所の仕様																														
・X-2		・主材料の製造 所の仕様	・主材料の製造 所の仕様																														
・Y-1	・地下外壁防水																																
・Y-2	・屋内防水																																

10 土工 続 (続き)	1 土工	<p>石材の割付け ・図示 [10.1.3、5] 粗面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ ・図示 ・行う (適用場所 ・すべて ・ ・行わない)</p> <p>天然石</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">岩石の種類</th> <th rowspan="2">等級</th> <th rowspan="2">形状及び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">表面仕上げ の種類</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・床石</td> <td>※2等品</td> <td>※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)</td> <td>・図示</td> <td>・粗磨き ・本磨き</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2等品</td> <td>※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)</td> <td>・図示</td> <td>・粗磨き ・本磨き</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・有 ・無</p> <p>テラゾブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種石の種類</th> <th rowspan="2">種石の大きさ (mm)</th> <th rowspan="2">形状に よる区分</th> <th rowspan="2">仕上げ面に よる区分</th> <th rowspan="2">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">表面仕上げ の種類</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・花こう岩</td> <td>※大埋石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾタイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種石の種類</th> <th rowspan="2">種石の大きさ (mm)</th> <th rowspan="2">寸法による区分</th> <th rowspan="2">表面仕上げ の種類</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・花こう岩</td> <td>※大埋石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石表面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する 充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品</p>	施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ の種類	備 考	・床石	※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き				※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き		施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状に よる区分	仕上げ面に よる区分	寸法 (mm)	表面仕上げ の種類	備 考	・花こう岩	※大埋石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ の種類	備 考	・花こう岩	※大埋石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		
	施工箇所	岩石の種類								等級	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ の種類	備 考																																			
・床石			※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き																																											
		※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き																																												
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状に よる区分	仕上げ面に よる区分	寸法 (mm)	表面仕上げ の種類	備 考																																										
								・花こう岩	※大埋石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示																																				
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ の種類	備 考																																												
						・花こう岩	※大埋石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																								
2 石材等	<p>[10.2.1、3] [表10.2.1、2]</p> <p>[10.2.2、3] [10.3.2、3]</p> <p>3 外壁湿式工法</p> <p>受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L=75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm ・L=75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm</p> <p>アンカーの材質及び寸法 ※SS400 寸法 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・ ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー、横筋流し工法</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 目地幅 ・標仕 (表9.7.1) による 伸縮調整目地 位置 ※標仕 表11.1.1による ・図示 シーリング材 目地幅 ・標仕 (表9.7.1) による 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示</p> <p>4 内壁空積工法</p> <p>受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L=75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm ・L=75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm</p> <p>アンカーの材質及び寸法 ※SS400 寸法 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・ 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 目地幅 ・標仕 (表9.7.1) による 伸縮調整目地 位置 ※6mmごと ・図示 シーリング材 目地幅 ・図示 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示</p> <p>5 外壁乾式工法</p> <p>乾式工法方式による金物の種類、形状、寸法等 ※標準表10.2.1による (右式 ・スライド方式 ・ロッキング方式) (・図示による) アンカーの材質及び寸法 ※ステンレス (SUS304) M10 あと施工アンカーの材質及び寸法等 () 種類: 材質: 寸法: だば用の穴の位置 ※標仕 10.5.2(2)(7)による ・図示 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法 1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地 目地幅及び深さ(mm) ※8以上 シーリング材 ※標仕 (表9.7) による ・図示</p> <p>6 床及び階段の石張り</p> <p>[10.6.2、3]</p> <p>床石張りの浸透性給水防止剤 ・適用する ・適用しない 床石張りの石表面処理 ・適用する ・適用しない 階段張りの石表面処理 ・適用する ・適用しない 目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示 ・ 屋外 4以上 ・ 屋内 3~6 シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※床面積30m2程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と 取り合う箇所 ・図示 シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示</p>																																																

10 土工 続 (続き)	7 笠木、甲板等の石張り	<p>[10.2.2] [10.7.1、2]</p> <p>取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法 石材の厚さ mm 特殊部位用金物 ※標仕 10.2.2(3) 材質 ※ステンレス (SUS304) 寸法 引金物 ・ だば ・ かすがい ・ 受金物 ・ 乾式工法方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー ・図示 ・標仕 (表10.2.4) に準ずる (方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式) あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・ 石表面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度 石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない</p>																																																																																																					
	11 タイル 工事 続 (続き)	<p>1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地</p> <p>位置 ※標仕 表11.1.1による ・図示 [11.1.3] [表11.1.1] 目地寸法 ※標仕 表9.7.3による ・図示</p> <p>2 セメントモルタルに よるタイル張り</p> <p>タイルの形状、寸法等 [11.2.2、3、6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">寸法 (mm)</th> <th colspan="3">形状/吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">再生</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施す</th> <th>施す</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>材料の 適用 ☑</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ※行わない 見本焼き ・行う ※行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目貫し工法 (高圧水洗処理) ・MOR工法 ・ 壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り 既設調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を 予め工場において所定の割合に配合した材料とする (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>3 有機系接着剤による タイル張り</p> <p>タイルの形状、寸法等 [11.3.2~4、7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">寸法 (mm)</th> <th colspan="3">形状/吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">再生</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施す</th> <th>施す</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>材料の 適用 ☑</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ※行わない 見本焼き ・行う ※行わない 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ボリウレタン系シーリング材 ひび割れ誘発目地 ※ボリウレタン系シーリング材 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・MOR工法 ・目貫し工法 (高圧水洗処理) ・</p> <p>4 階段滑り止め</p> <p>※磁器装 () ()</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	形状/吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生		耐凍害性		耐滑り性		備考	I類	II類	III類	施す	施す	有	無	標準	特注	材料の 適用 ☑	有	無	有	無																				施工箇所	種類	寸法 (mm)	形状/吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生		耐凍害性		耐滑り性		備考	I類	II類	III類	施す	施す	有	無	標準	特注	材料の 適用 ☑	有	無																		
施工箇所	種類	寸法 (mm)				形状/吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生		耐凍害性		耐滑り性			備考																																																																																	
			I類	II類	III類	施す	施す	有	無	標準	特注	材料の 適用 ☑	有	無	有	無																																																																																							
施工箇所	種類	寸法 (mm)	形状/吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生		耐凍害性		耐滑り性		備考																																																																																					
			I類	II類	III類	施す	施す	有	無	標準	特注	材料の 適用 ☑	有	無																																																																																									

12 木工事	1 木材の品質	構造材については、「認定かごしま材」を優先して使用することとし、次に示す部位の木材は、「認定かごしま材」を使用すること。（造作材、木製開口切り、隠壁）
	2 表面仕上げ	表面仕上げの種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
	3 製材	「JAS 1083-5」製材・第5部に基づく 「JAS 1083-2」製材・第2部に基づく 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 「JAS 1083(製材)」以外の製材
	4 造作用集材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「集材材の日本農林規格」による造作用集材
	5 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「JAS 0701」に基づく造作用単板積層材

12 木工事 続き	6 床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	7 接着剤	接着剤は可塑剤（揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外
	8 防霉・防蟻	防霉、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位： ・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理 ・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理
	9 防湿	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「JAS 0701」に基づく造作用単板積層材
	10 防虫	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「JAS 0701」に基づく造作用単板積層材

13 屋根及び土工事	1 長尺金属板葺	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	2 折板葺	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	3 粘土瓦葺	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	4 とい	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	5 保証書及び期間	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」

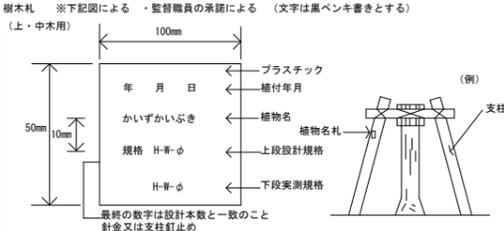
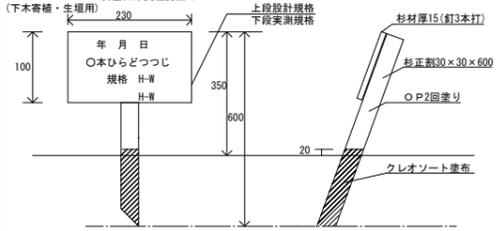
14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	3 鉄鋼の亜鉛めっき	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	4 軽量鉄骨天井地下	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	5 軽量鉄骨壁地下	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」

14 金属工事	6 金属成形板張り	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	7 アルミニウム製支保	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	8 手すり及びタラップ	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	9 手すり	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」
	10 タラップ	「合板の日本農林規格」による普通合板 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「バーティカルボード」 「MDF」

15 左官工事	1	モルタル塗り	モルタル ・現場調査材料 ・既調合材料 (材料) (15.3.2.5)	既製自地材 ・設ける 施工箇所() 形状(※図示) ・設けない 床の目地 ・設ける (目地割り ※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度)) (種類 ※押し目地) ・設けない 外装壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※適用する ・適用しない ・防水剤 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による	16 建具工事	1 防火戸 ※建具による (16.1.3) 2 防犯建具部品 ・適用する (※建具による) (16.1.6) ※適用しない 3 アルミニウム製建具 性能等級 (16.2.1.2、4、5) [表14.2.1] 外部に面する建具 ・A種 (建具符号 ・建具表による) ・B種 (建具符号 ・建具表による) ・C種 (建具符号 ・建具表による) ・D種 (建具符号 ・建具表による) ・E種 (建具符号 ・建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 枠の見込み寸法 ・建具表による 表面処理の種別 外部に面する建具 ・A-1種 ・A-2種 ※B-1種 ・B-2種 ・皮膜等の種類 (※標仕 表14.2.11による) 屋内の建具 ※C-1種 ・C-2種 ・皮膜等の種類 (※標仕 表14.2.11による) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜん板 ※建具表による ・図示	9 木製建具 建具材の加工、組立時の含水率 ・A種 ※B種 (16.7.2~4) 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ※普通合板 (※) 表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※70%程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・天然木 化粧合板 (※) 樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) ・特殊加工 化粧合板 (※) 化粧加工の方法 (・タリシタ化粧合板 ・アクリル ・タリシタ化粧合板) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 表面板の厚さ ※標仕 表16.7.6による ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ※生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクイヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による
	2	ラス系下地	ラス系下地 (15.2.4) ・透気構造単層下地 換気口部の措置 ・公共木造建築標仕 (11.4.3) (2) (9) ・透気構造二層下地 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 耐力壁、耐力構造、準耐力構造等の指定 () ラスの材料 種類 () 材料の記号及び単位面積あたりの質量 () ラスシートの材料 ラス目による区分 (・M) 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (・L S 4 (建築基準法に基づく耐力壁)) ステーパーの形状及び寸法 () 直張りラスシートモルタル下地で建築法に基づく耐力壁のラスシートの施工 ()	4 網戸等 (16.2.3) 種類 材種 線径 網目 ・防虫網 ・合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ ・防鳥網 ・ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm	16 建具工事(続き)	4 網戸等 (16.2.3) 種類 材種 線径 網目 ・防虫網 ・合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ ・防鳥網 ・ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm	11 鍵 鍵の製作本数 ・各室3本一組 (室名札付き) ・鍵箱 ・無し ・有り 鋼板の市販品として監督官の承諾による 形式 ・30本入り () 個 ・60本入り () 個 ・120本入り () 個 () 本入り () 個
	3	セルフペレング材塗り	・せっこう系 ・セメント系 (15.5.2) [表15.5.1]	5 樹脂製建具 性能等級 (16.2.2、5) [16.3.2~5] [表16.3.1~4] 外部に面する建具 ・A種 (建具符号 ・建具表による) ・B種 (建具符号 ・建具表による) ・C種 (建具符号 ・建具表による) ・D種 (建具符号 ・建具表による) ・E種 (建具符号 ・建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号 ・建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 () 枠の見込み寸法 ・建具表による 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示	6 鋼製建具 性能等級 (16.2.2) [16.4.2~4] [表16.4.2] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級 () 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 (・ SUS304、SUS304J1L又はSUS443J1) ステンレス製くつずりの仕上げ ・HL) 形状および仕上げ 鋼板類の厚さ ・標準仕様書 (表16.4.2) による 使用箇所 ()	11 鍵 鍵の製作本数 ・各室3本一組 (室名札付き) ・鍵箱 ・無し ・有り 鋼板の市販品として監督官の承諾による 形式 ・30本入り () 個 ・60本入り () 個 ・120本入り () 個 () 本入り () 個	
	4	仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材 種類 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・ ・ ・ ・ ・適用する ・ ・ ・ ・ ・適用する ・厚付け仕上塗材 種類 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り 防火材料 ・ ・ ・ ・ ・適用する ・ ・ ・ ・ ・適用する ・複層仕上塗材 種類 仕上げの形状 工法 上塗りの種類 耐水性 防火材料 ・ ・ ・ ・ ・溶媒 ※水系 ※耐水性 3種 ・ ・ ・ ・ ・樹脂 ※79%系 ・ ・ ・ ・ ・外観 ※つやあり ・軽量骨材仕上塗材 呼び名 防火材料 ・ ・ ・	7 鋼製軽量建具 性能等級 (16.2.2) [16.5.2~4] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・標仕 表16.5.1による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ステンレス鋼板 ・鋼板 形状および仕上げ 鋼板類の厚さ ・標準仕様書 (表16.5.1) による 使用箇所 ()	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3) 自動ドア 種類 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・引き戸 ・SSLD-1 ※標仕 表16.9.11による ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-2 ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-1 ・適用しない ・音波スイッチ ・適用しない ・SSLD-2 ・多目的トイレ 出入口引き戸 ※標仕 表16.9.21による ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・ ・ ・図示 ・ ・ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・ ・ ・ ・ ・車椅子使用者用便房スイッチ		
	5	A L Cパネルの場合の下地処理	内壁目地の形状 ※V形目地付き (15.6.4)	8 ステンレス製建具 性能等級 (16.2.2) [16.4.2] [16.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級 () 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3) 自動ドア 種類 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・引き戸 ・SSLD-1 ※標仕 表16.9.11による ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-2 ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-1 ・適用しない ・音波スイッチ ・適用しない ・SSLD-2 ・多目的トイレ 出入口引き戸 ※標仕 表16.9.21による ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・ ・ ・図示 ・ ・ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・ ・ ・ ・ ・車椅子使用者用便房スイッチ		
	6	マステック塗料塗り	種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗り: EP-G ※B種 ・A種) (15.7.2)	8 ステンレス製建具 性能等級 (16.2.2) [16.4.2] [16.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級 () 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3) 自動ドア 種類 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・引き戸 ・SSLD-1 ※標仕 表16.9.11による ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-2 ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-1 ・適用しない ・音波スイッチ ・適用しない ・SSLD-2 ・多目的トイレ 出入口引き戸 ※標仕 表16.9.21による ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・ ・ ・図示 ・ ・ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・ ・ ・ ・ ・車椅子使用者用便房スイッチ		
	7	せっこうプラスター塗り	下塗り ・既調合プラスター (下塗り用) ・現場調合プラスター (下塗り用) 上塗り ・既調合プラスター (上塗り用) ・しっくい塗り	8 ステンレス製建具 性能等級 (16.2.2) [16.4.2] [16.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級 () 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3) 自動ドア 種類 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・引き戸 ・SSLD-1 ※標仕 表16.9.11による ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-2 ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-1 ・適用しない ・音波スイッチ ・適用しない ・SSLD-2 ・多目的トイレ 出入口引き戸 ※標仕 表16.9.21による ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・ ・ ・図示 ・ ・ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・ ・ ・ ・ ・車椅子使用者用便房スイッチ		
	8	ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 仕上げ吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25 色彩 ・着色 ※原色	8 ステンレス製建具 性能等級 (16.2.2) [16.4.2] [16.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級 () 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3) 自動ドア 種類 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・引き戸 ・SSLD-1 ※標仕 表16.9.11による ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-2 ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-1 ・適用しない ・音波スイッチ ・適用しない ・SSLD-2 ・多目的トイレ 出入口引き戸 ※標仕 表16.9.21による ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・ ・ ・図示 ・ ・ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・ ・ ・ ・ ・車椅子使用者用便房スイッチ		
	9	しっくい塗り	しっくい ・現場調査材料 ※標仕 15.10.2(1) (4)による ・既調合材料 製造所 () 種類 () 下地 ※木ずり、こまい壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード ・モルタル塗り ・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに塗り付ける場合 調合及び塗厚 ・木ずり下地の場合 ※標仕 表15.10.3 ・こまい下地の場合 ※標仕 表15.10.4	8 ステンレス製建具 性能等級 (16.2.2) [16.4.2] [16.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級 () 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3) 自動ドア 種類 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・引き戸 ・SSLD-1 ※標仕 表16.9.11による ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-2 ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-1 ・適用しない ・音波スイッチ ・適用しない ・SSLD-2 ・多目的トイレ 出入口引き戸 ※標仕 表16.9.21による ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・ ・ ・図示 ・ ・ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・ ・ ・ ・ ・車椅子使用者用便房スイッチ		
	10	こまい壁塗り	のり ・土壁用ののり ・ふのり ※つまた ・ぎんなんそう ・粉末海産 ・砂壁用ののり ※ふのり ・つまた ・こんにかくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 色土 ・土物仕上げに用いる土の種類 () ・大津仕上げに用いる土壁の種類 () 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 調合 下塗りの場合 ※標仕 表15.11.2 塗厚 ※標仕 表15.11.8による ・建築基準法に基づく耐力壁のある場合 () 工程 ※A種 ・B種 ・土物仕上げ 種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 ・大津仕上げ 種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法	8 ステンレス製建具 性能等級 (16.2.2) [16.4.2] [16.6.2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級 () 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ (※断熱性の等級 (・建具表による) (建具符号 ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3) 自動ドア 種類 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・引き戸 ・SSLD-1 ※標仕 表16.9.11による ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-2 ・適用する ※光線(反射)スイッチ ・適用する ・SSLD-1 ・適用しない ・音波スイッチ ・適用しない ・SSLD-2 ・多目的トイレ 出入口引き戸 ※標仕 表16.9.21による ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・ ・ ・図示 ・ ・ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・ ・ ・ ・ ・車椅子使用者用便房スイッチ		

17 カーテンウォール工事	1 取付方法、性能等	[17.1.3] [17.2.2] [17.3.2] 取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 ・ 性能 耐震性能 耐風圧性 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度差性 ・80℃ ・70℃ ・60℃ 耐風圧性 適用区分による風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く) 支点間距離(h) 耐風圧性能 状態 4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 4mを超える ・ 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 性能の確認及び判定方法 ・性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し監督員の承諾を受ける。	18 ① 材料 ② 素地ごしらえ ③ 錆止め塗料塗り ④ 塗装	内部に使用する塗料は、原則水性系のものとする [18.1.3] 室内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・防火材料 ※壁内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：) [18.2.2~7] 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種 鉄鋼面(DP以外) ※C種 ・A種 ・B種 鉄鋼面(DPのみ) ※C種 ・A種 ・B種 垂れめっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及び石膏面 ※B種 ・A種 コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 コンクリート面(DPのみ)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 せっこうボード面及びその他 目地：継目処理工法 ※A種 ・B種 ボード面 目地：継目処理工法以外 ※B種 ・A種 [18.3.2, 3] 下地面等 塗料の種類 錆止め塗料の種類 錆止め塗料塗りの工程 鉄鋼面 SOP ・A種 見え隠れ：A種、見え隠れ：B種 DP ・C種及びD種 隠仕(表18.3.4) EP-G ・A種 ・B種 見え隠れ：A種、見え隠れ：B種 垂れめっき鋼面 SOP ・鋼製建具等 鋼製建具等：A種 ・A種 ・B種 上記以外：B種 ・その他 ・A種 ・B種 DP ・B種 鋼製建具等：A種 上記以外：B種 EP-G ・C種 鋼製建具等：A種 上記以外：B種 [18.4.1~18.12.2] 塗装 種別 塗料の種類 高日射反射率 塗料の適用 ・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 木部屋外 ※A種 ・B種 木部屋内 ※B種 ・A種 鉄鋼面 ※B種 ・A種 ・適用する 垂れめっき鋼面 - ・適用する ・クリヤラッカー塗り(CL) ※B種 ・A種 - - ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ※B種 ・A種 - - ・耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 - 上塗り等級()級 ・適用する 垂れめっき鋼面 - 上塗り等級()級 - コナリ面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種 - ○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) コナリ面、モルタル面、せっこうボード面、その他ボード面等 ※B種 ・A種 - - 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・A種 - - ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ※B種 ・A種 - - ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UV) ※B種 ・A種 - - ・オイルステイン塗り(OS) ※水性 ・油性 - - ・木材保護塗料塗り(NP) ※B種 ・A種 - - 高日射反射率塗料(☑)を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。 クリアラッカー塗(CL)A種の工種2の適用 ・適用する(着色剤： ・溶剤系接着剤 ・油性染料接着剤) ・適用しない ・高日射反射率塗料塗り 工程 塗料その他 塗付量(kg/m) 規格番号 規格名称 種類 等級 塗料塗り JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 2種 ・1級 ・2級 ・3級 塗料製造所の仕様による
	2 メタルカーテンウォール	[17.2.2, 3, 5, 6] 金属材料の種類 ・アルミウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 シーリング材の種類(目地等) 種類及び寸法 ・図示 ・ ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類 ・SR-2 ・SR-1 支持方法 ・4辺指示 ・ 断熱材(☑) 種類() 厚さ(mm) () 施工箇所 ・図示 ・ 製品及び取付位置の寸法許容差 ※仕様 17.2.1~3による ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による 耐火処理 適用部位 ・図示 材料、種別 ・図示	3 錆止め塗料塗り ④ 塗装	
	3 PCカーテンウォール	[17.3.2~5] [表17.3.1, 2] カーテンウォールの材料 コンクリート 種類 ・普通コンクリート 軽量コンクリート種 ・ 品質 ※仕様 17.3.2(1)(4)による 鉄筋 ※SD295A(・D13 ・D10) 補強鉄線の径(mm) ※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 配筋 ※図示 シーリング材の種類(目地等) 種類及び寸法 ・ 先付けの材料 ・建具材 ・ゴンドラ用ガイドレール 表面仕上材 ・石材(・花こう岩 ・大理石 ・) ・セラミックタイル ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm) ・h=1~2、W1及びW2=±1 製品及び取付位置の寸法許容差 ※仕様 表17.3.1, 2による ガラスの取付け方法 ガラスの取付け材が構造用ガasketで複層 ガラス等を使用する場合は、排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う。	3 錆止め塗料塗り ④ 塗装	
19 内装工事	1 接着剤	[19.2.2] 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤は可塑剤(揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・図示	19 内装工事 ⑨ 畳敷き ⑩ せっこうボードその他のボード張り	接着剤のホルムアルデヒド放散量 [19.2.2] ※規制対象外 接着剤は可塑剤(揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・図示 [19.2.2, 3] 種類 JIS記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ※発泡層のないもの ※FS(複層ビニ床シート) ・無地 ・帯電防止 ※2.0 ・マール柄 ・耐動荷重性 ・ ・発泡層のあるもの ・無地 ・防汚性 ・ ・柄物 ・耐薬品性 工法 ※熱溶接工法 ・ [19.2.2] JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ・FT(複層ビニ床シート) ※無地 ・帯電防止 ・柄物 ・防汚性 ※KT(コバジツビニ床シート) ※無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0 ・450×450 ・防汚性 ・2.5 ・T(単層ビニ床シート) ・500×500 ・防汚性 ・3.0 ※FOA(置敷きビニ床シート) ・無地 ※帯電防止 ・柄物 ・防汚性 ・FOB(置敷きビニ床シート) ・柄物 ・防汚性 置敷きビニ床タイル(FOA・FOB)の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする ・帯電防止ビニ床タイル(パネル一体タイプ) 右に示す製造所の商品程度とする() ・耐熱性ビニ床タイル 右に示す製造所の商品程度とする() [19.2.2] 材質 ※軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 [19.2.2] 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () [19.2.2, 3] [表19.3.1, 2] ・タイルカーペット [19.3.2, 3] [表19.3.1, 2] バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットバイル ※500×500 ※6.5 帯電防止及び防汚加工品 ・第一種 ・ ・第二種 ・ ・カット・ループ併用 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ 色柄 ※無地 ・柄物 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・) ※適用しない [19.4.2, 3] [表19.4.1~8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性力の樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ※樹脂系塗床材 球状樹脂系塗床材 ・厚膜流し展べ工法 ・防汚仕上げ ・樹脂修理工法 ・薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り
	2 ビニ床シート(☑)	[19.2.2, 3] 種類 JIS記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ※発泡層のないもの ※FS(複層ビニ床シート) ・無地 ・帯電防止 ※2.0 ・マール柄 ・耐動荷重性 ・ ・発泡層のあるもの ・無地 ・防汚性 ・ ・柄物 ・耐薬品性 工法 ※熱溶接工法 ・ [19.2.2] JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ・FT(複層ビニ床シート) ※無地 ・帯電防止 ・柄物 ・防汚性 ※KT(コバジツビニ床シート) ※無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0 ・450×450 ・防汚性 ・2.5 ・T(単層ビニ床シート) ・500×500 ・防汚性 ・3.0 ※FOA(置敷きビニ床シート) ・無地 ※帯電防止 ・柄物 ・防汚性 ・FOB(置敷きビニ床シート) ・柄物 ・防汚性 置敷きビニ床タイル(FOA・FOB)の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする ・帯電防止ビニ床タイル(パネル一体タイプ) 右に示す製造所の商品程度とする() ・耐熱性ビニ床タイル 右に示す製造所の商品程度とする() [19.2.2] 材質 ※軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 [19.2.2] 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () [19.2.2, 3] [表19.3.1, 2] ・タイルカーペット [19.3.2, 3] [表19.3.1, 2] バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットバイル ※500×500 ※6.5 帯電防止及び防汚加工品 ・第一種 ・ ・第二種 ・ ・カット・ループ併用 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ 色柄 ※無地 ・柄物 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・) ※適用しない [19.4.2, 3] [表19.4.1~8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性力の樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ※樹脂系塗床材 球状樹脂系塗床材 ・厚膜流し展べ工法 ・防汚仕上げ ・樹脂修理工法 ・薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り		
	3 ビニ床タイル(☑)	[19.2.2] JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ・FT(複層ビニ床シート) ※無地 ・帯電防止 ・柄物 ・防汚性 ※KT(コバジツビニ床シート) ※無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0 ・450×450 ・防汚性 ・2.5 ・T(単層ビニ床シート) ・500×500 ・防汚性 ・3.0 ※FOA(置敷きビニ床シート) ・無地 ※帯電防止 ・柄物 ・防汚性 ・FOB(置敷きビニ床シート) ・柄物 ・防汚性 置敷きビニ床タイル(FOA・FOB)の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする ・帯電防止ビニ床タイル(パネル一体タイプ) 右に示す製造所の商品程度とする() ・耐熱性ビニ床タイル 右に示す製造所の商品程度とする() [19.2.2] 材質 ※軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 [19.2.2] 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () [19.2.2, 3] [表19.3.1, 2] ・タイルカーペット [19.3.2, 3] [表19.3.1, 2] バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットバイル ※500×500 ※6.5 帯電防止及び防汚加工品 ・第一種 ・ ・第二種 ・ ・カット・ループ併用 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ 色柄 ※無地 ・柄物 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・) ※適用しない [19.4.2, 3] [表19.4.1~8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性力の樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ※樹脂系塗床材 球状樹脂系塗床材 ・厚膜流し展べ工法 ・防汚仕上げ ・樹脂修理工法 ・薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り		
4 ビニ床幅木	[19.2.2] 材質 ※軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 [19.2.2] 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () [19.2.2, 3] [表19.3.1, 2] ・タイルカーペット [19.3.2, 3] [表19.3.1, 2] バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットバイル ※500×500 ※6.5 帯電防止及び防汚加工品 ・第一種 ・ ・第二種 ・ ・カット・ループ併用 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ 色柄 ※無地 ・柄物 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・) ※適用しない [19.4.2, 3] [表19.4.1~8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性力の樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ※樹脂系塗床材 球状樹脂系塗床材 ・厚膜流し展べ工法 ・防汚仕上げ ・樹脂修理工法 ・薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り			
5 ゴム床タイル	[19.2.2] 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () [19.2.2, 3] [表19.3.1, 2] ・タイルカーペット [19.3.2, 3] [表19.3.1, 2] バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットバイル ※500×500 ※6.5 帯電防止及び防汚加工品 ・第一種 ・ ・第二種 ・ ・カット・ループ併用 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ 色柄 ※無地 ・柄物 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・) ※適用しない [19.4.2, 3] [表19.4.1~8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性力の樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ※樹脂系塗床材 球状樹脂系塗床材 ・厚膜流し展べ工法 ・防汚仕上げ ・樹脂修理工法 ・薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り			
6 カーペット敷き(☑)	[19.3.2, 3] [表19.3.1, 2] ・タイルカーペット [19.3.2, 3] [表19.3.1, 2] バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットバイル ※500×500 ※6.5 帯電防止及び防汚加工品 ・第一種 ・ ・第二種 ・ ・カット・ループ併用 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ 色柄 ※無地 ・柄物 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・) ※適用しない [19.4.2, 3] [表19.4.1~8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性力の樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ※樹脂系塗床材 球状樹脂系塗床材 ・厚膜流し展べ工法 ・防汚仕上げ ・樹脂修理工法 ・薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り			
7 合成樹脂塗床	[19.4.2, 3] [表19.4.1~8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性力の樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ ※樹脂系塗床材 球状樹脂系塗床材 ・厚膜流し展べ工法 ・防汚仕上げ ・樹脂修理工法 ・薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り			
8 フローリング張り	[19.5.2~5] [表19.5.1~5] 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用 ・70-リッポボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ・ 15 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ・ ・12以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・接着工法 ・ ・8以上 振幅75 塗装品 ・有り ・なし ・ 板長さ400以上 ・無塗装品 ・70-リッポボード1等 ・接着工法 ・ 15 303×303 塗装品 ・有り ・なし 複合フローリング(☑) 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用 ・天然木化粧複合70-リッポ ・釘留め工法(根太張り) ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・適用しない ・無塗装品 ・なし ・接着工法 ※なら 板厚・12以上 振幅・75以上 板長さ400以上 ・有り ・なし フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り			
9 畳敷き	[19.6.2] [表19.6.1] 種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種(畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・種別 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン(☑)) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビニレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和畳 畳表(JIS A 5902) ・C1 ・C2 防虫処理は加熱による方法及び防虫加工紙(布)による方法とし、人体に無害なものとする。 畳表は、熊本県畳表検査規定による「熊本引通 五八 2等級」規定品同等以上とする。 [19.7.2, 3] [表19.7.1] 種類 JIS記号 厚さ(mm)、規格等 ・硬質木毛セメント板(☑) HW ・15 ・20 ※25 ・ ・普通木毛セメント板(☑) NW ・15 ・20 ※25 ・ ○けい酸カルシウム板 0.8FK ・突付け ○目通し 1.0FK タイプ2 (無石綿) ※6 ・8 ・ロックウール化粧畳表 DR ※突付け ・ ・フラットタイプ(・9(不燃) ※12(不燃) ・) ・凹凸タイプ(・12(不燃)・15(不燃)・19(不燃)・) ※300×600 ・455×910 ・グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25(厚手ガラスクロス包) ・ ※留め付け材 樹脂製プラグ@300程度 ・せっこうボード GB-R ※突付け(ベベルエッジ) ・継目処理 ※12.5(不燃) ・15(不燃) ※910×2730 ・910×1820 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ※突付け ※9.5(不燃) ・化粧用(下地張り用) ・化粧用(トラバーチン模様) ※450×910 ・910×910 ・シーリングせっこうボード GB-S ・12.5(不燃) ・進化せっこうボード GB-F ・12.5(不燃) ・15(不燃) ・化粧せっこうボード(木目) GB-D ※目通し ・12.5(不燃)幅440mm程度 ※9.5 模様(※柱目 ・板目)専用下地材有り ・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903による (※1.2 ・) せっこうボード等の下地は図示による 石膏ボードの目地工法等 目地工法の種類 ・仕上による 突付工法及び目通し工法のエッジの種類 ・ベベルエッジ ・スクエアエッジ 遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シーリング材 ・ジョイントバンド(JIS A 6914) 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 合板類の張付け ※B種 ・A種 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.8.2, 3] 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 商品名(程度) 紙 繊維 プラスチック 無機質 その他 ・ ・ ・ ・ ・ ・不燃 ・準不燃 ・ ・ ・ ・ ・ ・不燃 ・準不燃 ・ ・ ・ ・ ・ ・不燃 ・準不燃 ・ ・ ・ ・ ・ ・不燃 ・準不燃 モルタル・石膏面等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート・ALC面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種			

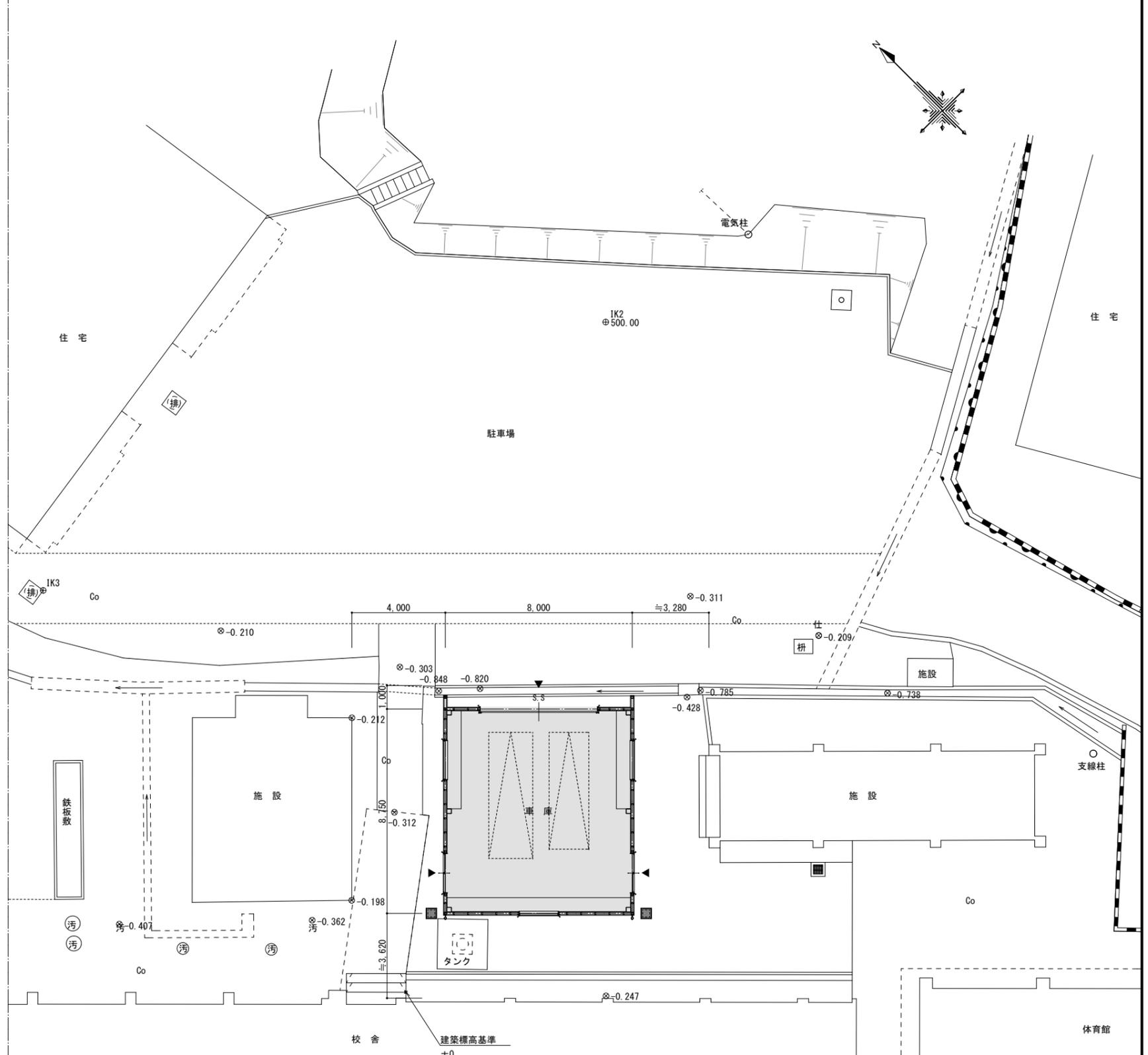
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ユニット及びその他の工事</p>	<p>1 フリーアクセスフロア [20.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>所定荷重 (N)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※450角以上 600角以下</td> <td>※100 ・120</td> <td>※3000 ・5000</td> <td>・帯電防止床材 ※防静電シート</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※450角以上 600角以下</td> <td>※100 ・120</td> <td>※3000 ・5000</td> <td>・帯電防止床材 ※防静電シート</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※450角以上 600角以下</td> <td>※100 ・120</td> <td>※3000 ・5000</td> <td>・帯電防止床材 ※防静電シート</td> <td></td> </tr> </table> <p>適用地震時水平力 1階及び地階 ※0.66以上 中間階(～階) ※0.66以上 最上階(階) ※1.06以上</p> <p>帯電防止床タイプ ・敷設タイプ ・パネル一体タイプ (パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする)</p> <p>寸法精度 ※標仕 20.2.2(2)(a)～(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0.5mm以内</p> <p>(性能・試験方法) ローリングロード性能 ・適用する 適用室 () ※適用しない</p> <p>ローリングロード試験 所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上(任意)による繰り返し試験後、 残留変形3.0mm以下であること (パネル面に目録による著しいわだち及び損傷がないこと。かつ、使用上有害なものがつきがないこと)</p> <p>・2重床用複合アウトレット用開口 適用室 () 開口の数 フロア面積8㎡につき1ヶ所かつ予備開口14㎡につき1ヶ所 開口の大きさ コンセント(電源)：2P15A接地極付×2 情報用モジュラージャック(電話)：8極8芯×1の入った アウトレットが納まる大きさ フリーアクセスフロア製造所の仕様とする</p>	施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上げ	備考		※450角以上 600角以下	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※防静電シート			※450角以上 600角以下	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※防静電シート			※450角以上 600角以下	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※防静電シート		<p>6 階段滑り止め [20.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>滑り止め材</th> <th>取付け工法</th> <th>幅(mm)</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> <tr> <td>※ステンレス製(SUS304) ・貴銅製押出形材 ・アルミニウム製押出形材</td> <td>・ゴム又は 合成樹脂 ・タイヤ型 ・タイヤ ・レス型</td> <td>※接着工法 ※埋込み工法</td> <td>・35mm ・40mm ・50mm</td> <td>※あり ・なし</td> </tr> </table> <p>床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる ※ステンレス製□型(幅40程度)⑦(1.5) 標準詳細図 4-31-1 ・ステンレス製 6×12 標準詳細図 4-31-2 ・貴銅製 6×12 標準詳細図 4-31-2</p> <p>・集成材手すり [20.2.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>径</th> <th>材種</th> <th>仕上</th> </tr> <tr> <td>・1段</td> <td>・35φ</td> <td>・※タモ</td> <td>・※CL</td> </tr> <tr> <td>・※2段</td> <td>・※35φ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・既製手すり(樹脂製)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>径</th> <th>ブラケット</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・O型(1段)</td> <td>※40φ</td> <td>アルミ合金製 (心材共)</td> <td>指づめ防止共</td> </tr> <tr> <td>※O型(2段)</td> <td>※34φ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>点字表示板()箇所 JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による ※リカーボード製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度 ・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度</p> <p>[20.2.9]</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>色</th> </tr> <tr> <td>黒板</td> <td>※焼付け ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板</td> <td>・緑 ・</td> </tr> <tr> <td>・ホワイトボード</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>取付箇所() [20.2.10]</p> <p>寸法(mm) 5 厚さ(mm) ※5</p> <p>11 煙突ライニング [20.2.13]</p> <p>・煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度(上限温度) ・400℃ ・650℃ 適用安全使用温度(下限温度) ・ ・キャストアルファ耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする</p> <p>12 ブラインド [20.2.14]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材種</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ギック・レベルの材種</th> <th>巾・高さ</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動</td> <td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム 合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>7×7×6合金製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は☑とする。</p> <p>[20.2.15]</p> <table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>巾・高さ</th> <th>材種</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・</td> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p> <p>[20.2.16]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>商品名(程度)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・フラスヒダ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・ひも引き</td> <td>・箱ひだ、つまひだ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・フラスヒダ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・ひも引き</td> <td>・箱ひだ、つまひだ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は☑とする。 贈答カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p> <p>15 カーテンレール [20.2.16]</p> <p>材種による区分 ※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製</p> <p>強さによる区分 ※10-0 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>16 ブラインドボックス及びカーテンボックス [20.2.16]</p> <p>溝型×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・</p>	材種	滑り止め材	取付け工法	幅(mm)	端部フラットエンド	※ステンレス製(SUS304) ・貴銅製押出形材 ・アルミニウム製押出形材	・ゴム又は 合成樹脂 ・タイヤ型 ・タイヤ ・レス型	※接着工法 ※埋込み工法	・35mm ・40mm ・50mm	※あり ・なし	形式	径	材種	仕上	・1段	・35φ	・※タモ	・※CL	・※2段	・※35φ	・	・	形式	径	ブラケット	備考	・O型(1段)	※40φ	アルミ合金製 (心材共)	指づめ防止共	※O型(2段)	※34φ			区分	種類	色	黒板	※焼付け ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板	・緑 ・	・ホワイトボード	・	・	形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ギック・レベルの材種	巾・高さ	取付箇所	・横型	・手動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・	・	・縦型	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7×7×6合金製	・	・	操作方法	巾・高さ	材種	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・	形式	開閉操作	ひだの種類	商品名(程度)	取付箇所	備考	・シングル	・片引き	・手引き	・フラスヒダ	・	・	・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ	・	・	・シングル	・片引き	・手引き	・フラスヒダ	・	・	・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ	・	・	<p>7 床目地棒 [20.2.8]</p> <p>・集成材手すり [20.2.6]</p> <p>8 手すり [20.2.6]</p> <p>9 黒板及びホワイトボード [20.2.9]</p> <p>10 鏡 [20.2.10]</p> <p>11 煙突ライニング [20.2.13]</p> <p>12 ブラインド [20.2.14]</p> <p>13 ロールスクリーン [20.2.15]</p> <p>14 カーテン [20.2.16]</p> <p>15 カーテンレール [20.2.16]</p> <p>16 ブラインドボックス及びカーテンボックス [20.2.16]</p> <p>17 コーナービート(壁ボード出隅保護金物) [20.2.16]</p> <p>18 天井見切縁 [20.2.16]</p> <p>19 ピクチャーレール [20.2.16]</p>	<p>20 天井点検口 [20.2.7]</p> <p>21 床点検口 [20.2.7]</p> <p>22 造作家具 [20.2.7]</p> <p>23 消火器ボックス [20.2.7]</p> <p>24 くつふきマット [20.2.7]</p> <p>25 ステンレス流し台 [20.2.7]</p> <p>26 コンロ台 [20.2.7]</p> <p>27 旗竿 [20.2.7]</p> <p>28 旗竿受金物 [20.2.7]</p> <p>29 車止め支柱 [20.2.7]</p> <p>30 フェンス [20.2.7]</p> <p>31 屋内掲示板 [20.2.7]</p> <p>32 敷地境界標 [20.2.7]</p> <p>33 耐震スリット [20.2.7]</p> <p>34 打継止水材 [20.2.7]</p> <p>35 エキスパンション・ジョイント金物 [20.2.7]</p>	<p>20 ユニット及びその他の工事 続き</p> <p>21 排水工事</p> <p>22 舗装工事</p>	<p>36 プレキャストコンクリート [20.3.3、4]</p> <p>コンクリートの設計基準強度 ※セメント比55%以下、単位セメント量の最少値300kg/m³を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する 取付け方法 ※図示</p> <p>37 間知石及びコンクリート間知ブロック積み [20.4.2、3]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み 自塗り 伸縮調整目地材 厚さ</p> <p>38 マンホールふた(屋内) [20.3.3、4]</p> <p>公益社団法人空気調和・衛生工学会 SHASE-S2091による 名称 ・簡易密閉型(バツ式) ・密閉型(バツ式) ・密閉型(バツ式) 耐荷重 ・5KN(T-2) ・15KN(T-6) ・50KN(T-20) 寸法 ※内径650</p> <p>1 屋外雨水排水 [21.2.1、2] [表21.2.1、2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・RS-VP ・RS-VU ※VP ○VU</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ ・図示 ・呼び径300以下は100mm、呼び径300を超える場合は150mm</p> <p>基礎の種類 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 排水橋の種類 砂地業に用いる材料 砂利地業に用いる材料 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm² ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A ・現場打ちの場合の足金物 ※標仕 21.2.2(6) 付 材質 ・ステンレス製 ・鋼材 ・合成樹脂被覆加工されたもの</p> <p>2 鉄製ふた [21.2.1]</p> <p>3 グレーチング [21.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用適重</th> <th>片のピッチ</th> <th>垂れつき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>○鋼製</td> <td>・受持付き、 ・ギク固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた (側溝用) ○U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ○細目</td> <td>・</td> <td>・凸凹形 ・</td> </tr> <tr> <td>・アルミ製</td> <td>・受持付き、 ・ギク固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた (側溝用) ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・凸凹形 ・ ・平形 ・</td> </tr> </table> <p>4 街きよ、縁石、側溝 [21.3.1、2] [表21.3.1]</p> <p>種類、形状及び寸法等 ※図示 地業の材料 砂利地業に用いる材料 砂利地業の厚さ ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm²</p> <p>5 埋戻し土 [21.2.1]</p> <p>表3.2.1「埋戻し及び盛土の種類」による ※B種</p>	材種	種類	質量区分	備考	・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩	・	・A ・B	・	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B形管	・	・	○硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VP ・RS-VU ※VP ○VU	・	・	・	材質	形式	用途	適用適重	片のピッチ	垂れつき(付着量)	上面形状	○鋼製	・受持付き、 ・ギク固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた (側溝用) ○U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ○細目	・	・凸凹形 ・	・アルミ製	・受持付き、 ・ギク固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた (側溝用) ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・	・	・凸凹形 ・ ・平形 ・	<p>20 ユニット及びその他の工事 続き</p> <p>21 舗装工事</p>	<p>22 舗装工事</p> <p>23 舗装工事</p> <p>24 舗装工事</p> <p>25 舗装工事</p> <p>26 舗装工事</p> <p>27 舗装工事</p> <p>28 舗装工事</p> <p>29 舗装工事</p> <p>30 舗装工事</p> <p>31 舗装工事</p> <p>32 舗装工事</p> <p>33 舗装工事</p> <p>34 舗装工事</p> <p>35 舗装工事</p>	<p>36 舗装工事</p> <p>37 舗装工事</p> <p>38 舗装工事</p>
	施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																
		※450角以上 600角以下	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※防静電シート																																																																																																																																																																																	
		※450角以上 600角以下	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※防静電シート																																																																																																																																																																																	
		※450角以上 600角以下	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※防静電シート																																																																																																																																																																																	
	材種	滑り止め材	取付け工法	幅(mm)	端部フラットエンド																																																																																																																																																																																	
	※ステンレス製(SUS304) ・貴銅製押出形材 ・アルミニウム製押出形材	・ゴム又は 合成樹脂 ・タイヤ型 ・タイヤ ・レス型	※接着工法 ※埋込み工法	・35mm ・40mm ・50mm	※あり ・なし																																																																																																																																																																																	
	形式	径	材種	仕上																																																																																																																																																																																		
	・1段	・35φ	・※タモ	・※CL																																																																																																																																																																																		
	・※2段	・※35φ	・	・																																																																																																																																																																																		
	形式	径	ブラケット	備考																																																																																																																																																																																		
	・O型(1段)	※40φ	アルミ合金製 (心材共)	指づめ防止共																																																																																																																																																																																		
	※O型(2段)	※34φ																																																																																																																																																																																				
	区分	種類	色																																																																																																																																																																																			
	黒板	※焼付け ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板	・緑 ・																																																																																																																																																																																			
	・ホワイトボード	・	・																																																																																																																																																																																			
	形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ギック・レベルの材種	巾・高さ	取付箇所																																																																																																																																																																														
	・横型	・手動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・	・																																																																																																																																																																														
	・縦型	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7×7×6合金製	・	・																																																																																																																																																																														
	操作方法	巾・高さ	材種	品質等																																																																																																																																																																																		
	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・																																																																																																																																																																																		
形式	開閉操作	ひだの種類	商品名(程度)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																	
・シングル	・片引き	・手引き	・フラスヒダ	・	・																																																																																																																																																																																	
・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ	・	・																																																																																																																																																																																	
・シングル	・片引き	・手引き	・フラスヒダ	・	・																																																																																																																																																																																	
・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ	・	・																																																																																																																																																																																	
材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																			
・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩	・	・A ・B	・																																																																																																																																																																																			
材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																		
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B形管	・	・																																																																																																																																																																																		
○硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VP ・RS-VU ※VP ○VU	・	・	・																																																																																																																																																																																		
材質	形式	用途	適用適重	片のピッチ	垂れつき(付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																
○鋼製	・受持付き、 ・ギク固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた (側溝用) ○U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ○細目	・	・凸凹形 ・																																																																																																																																																																																
・アルミ製	・受持付き、 ・ギク固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた (側溝用) ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・	・	・凸凹形 ・ ・平形 ・																																																																																																																																																																																
<p>2 可動間仕切 [20.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構造基材の種類</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵)</td> <td>スタッド</td> <td>※メラミン樹脂積層付又は アクリル樹脂積層付 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標仕 19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上 ガラス留め材 ※ガスカート</p> <p>3 移動間仕切 [20.2.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>操作方法による種類</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>※60程度 ・100程度</td> <td>・鋼板 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標仕 19章による ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・図示 移動間仕切の壁面当たり種 ※適用する(製造所の仕様による) ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーで除した値に対して耐力及び変形量が使用上支障のないもの</p> <p>4 トイレブース [20.2.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>色柄</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td>※無地 ・柄物</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>※標準 ・R</td> </tr> </table> <p>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</p> <p>吊り方式 ※中心吊、戸当たり付 () パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p> <p>5 視覚障害者用床タイル [11.2.2] [19.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>※300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>※17程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外</td> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>※17程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・60</td> </tr> </table> <p>視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列はJIS T 9251による ・樹脂系点字紙(タイルカーペット用) 寸法 ・300角 ※500角 色 ※黄色 樹脂系点字紙の留付けは、両面からの挟込みホック式又は接着式</p>	構造形式による種類	構造基材の種類	パネル表面材	遮音性	防火性能	・スタッド式(内蔵)	スタッド	※メラミン樹脂積層付又は アクリル樹脂積層付 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	・不燃	構造形式	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	・鋼板 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	表面材の材料	色柄	脚部	ドアエッジ	※メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ	※標準 ・R	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7.0	・セラミックタイル	※300×300	※17程度	屋外	・レジンコンクリート製	※300×300	・30	・セラミックタイル	※300×300	※17程度		・レジンコンクリート製	※300×300	・60	<p>20 ユニット及びその他の工事 続き</p> <p>21 舗装工事</p>	<p>22 舗装工事</p> <p>23 舗装工事</p> <p>24 舗装工事</p> <p>25 舗装工事</p> <p>26 舗装工事</p> <p>27 舗装工事</p> <p>28 舗装工事</p> <p>29 舗装工事</p> <p>30 舗装工事</p> <p>31 舗装工事</p> <p>32 舗装工事</p> <p>33 舗装工事</p> <p>34 舗装工事</p> <p>35 舗装工事</p>	<p>36 舗装工事</p> <p>37 舗装工事</p> <p>38 舗装工事</p>																																																																																																																															
構造形式による種類	構造基材の種類	パネル表面材	遮音性	防火性能																																																																																																																																																																																		
・スタッド式(内蔵)	スタッド	※メラミン樹脂積層付又は アクリル樹脂積層付 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	・不燃																																																																																																																																																																																		
構造形式	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性																																																																																																																																																																																	
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	・鋼板 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																																																																																																																																	
表面材の材料	色柄	脚部	ドアエッジ																																																																																																																																																																																			
※メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ	※標準 ・R																																																																																																																																																																																			
施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																			
屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7.0																																																																																																																																																																																			
	・セラミックタイル	※300×300	※17程度																																																																																																																																																																																			
屋外	・レジンコンクリート製	※300×300	・30																																																																																																																																																																																			
	・セラミックタイル	※300×300	※17程度																																																																																																																																																																																			
	・レジンコンクリート製	※300×300	・60																																																																																																																																																																																			

22 舗装工事(続き)	② 路盤	<p>路盤の構成及び厚さ 図示 [22.2.2、3、5] [表22.3.1]</p> <p>路盤材料の種類</p> <table border="1"> <tr> <td>・砕石</td> <td>・クラッシュラン C-40</td> </tr> <tr> <td>・再生材</td> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>※再生材</td> <td>※クラッシュラン RC-40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュラン底層スラグ CS-40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> </table> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 [22.4.2~6] [表22.4.4]</p> <p>材料及び種類</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト (・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト骨材</p> <p>※アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <p>※密粒度アスファルト混合物 (13)</p> <p>・細粒度アスファルト混合物 (13)</p> <p>シールコートの施工 ・行う ・行わない</p> <p>試験</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	・砕石	・クラッシュラン C-40	・再生材	・粒度調整砕石	※再生材	※クラッシュラン RC-40		・粒度調整砕石		・クラッシュラン底層スラグ CS-40		・粒度調整鉄鋼スラグ		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	23 植栽及び屋上緑化工事	<p>1 植栽地の確認等</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない [23.1.3]</p> <p>電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない</p> <p>2 植栽基盤の整備</p> <p>植木の植栽基盤の整備 ・適用する ・適用しない [23.2.2、4]</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・樹木</td> <td rowspan="4">※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)</td> <td rowspan="4">・実張り部分 ・植栽部分 ※図示 ・</td> <td rowspan="4">・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100)</td> </tr> <tr> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)</td> </tr> <tr> <td>樹高3m未満 (※50 ・60)</td> </tr> <tr> <td>※芝、地被類</td> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・植栽部分 ※図示</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする。</p> <p>植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・) ・設けない</p> <p>3 植込み用土</p> <p>※ 現場発生土の良質土 ・客土 [23.2.3]</p> <p>4 土壌改良材</p> <p>土壌改良材の適用 ・適用する ・適用しない [23.2.3]</p> <p>種類及び指定量等</p> <p>・バグ堆肥</p> <p>使用量 : 植栽基盤面積 1㎡あたり (・50L ・)</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 70%以上</p> <p>炭素窒素比 (C/N比) : 35以下</p> <p>陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上</p> <p>pH : 5.5~7.5</p> <p>水分 : 55~65%</p> <p>幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常が認められない</p> <p>窒素全量 (現物) : 0.5%以上</p> <p>りん酸全量 (現物) : 0.2%以上</p> <p>加里全量 (現物) : 0.1%以上</p> <p>施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。</p> <p>・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の結果、害が認められないものとする。</p> <p>使用量 : 植栽基盤面積 1㎡あたり (・10L ・)</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 35%以上</p> <p>炭素窒素比 (C/N比) : 20以下</p> <p>pH : 8.5以下</p> <p>水分 : 50%以下</p> <p>窒素全量 (現物) : 0.8%以上</p> <p>りん酸全量 (現物) : 1.0%以上</p> <p>アルカリ分 (現物) : 15%以下 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用の場合はこの限りではない)</p> <p>施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	・実張り部分 ・植栽部分 ※図示 ・	・適用する ・適用しない	樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100)	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)	樹高3m未満 (※50 ・60)	※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ※図示	・適用する ・適用しない	23 植栽及び屋上緑化工事(続き)	<p>11 樹木札</p> <p>支柱材 ※加圧式防腐処理丸太材 ・真竹 [23.3.2]</p> <p>幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも [23.3.2]</p> <p>樹木札 ※下記図による ・監督職員の承認による (文字は黒ペンキ書きとする)</p> <p>(上・中木用)</p>  <p>12 樹木の結核</p>  <p>※引渡しの日から1年 () [23.3.4] [23.3.6]</p>	その他特記事項																														
	・砕石	・クラッシュラン C-40																																																																			
・再生材	・粒度調整砕石																																																																				
※再生材	※クラッシュラン RC-40																																																																				
	・粒度調整砕石																																																																				
	・クラッシュラン底層スラグ CS-40																																																																				
	・粒度調整鉄鋼スラグ																																																																				
	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																				
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																																	
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	・実張り部分 ・植栽部分 ※図示 ・	・適用する ・適用しない																																																																	
		樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100)																																																																			
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)																																																																			
		樹高3m未満 (※50 ・60)																																																																			
※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ※図示	・適用する ・適用しない																																																																	
③ アスファルト舗装	<p>コンクリート舗装の構成及び厚さ [22.5.2~4、6] [表22.5.1、3]</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>構 成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示</td> <td>・150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>○70</td> </tr> </table> <p>材料</p> <p>コンクリート</p> <p>コンクリートの種類 ・</p> <p>設計基準強度 ・</p> <p>所定のスランプ ※8 ・</p> <p>粗骨材の最大寸法 ・</p> <p>※普通コンクリート、標仕 表22.5.1による</p> <p>早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない</p> <p>注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地</p> <p>種類 ・</p> <p>間隔 ・ m程度ごと</p> <p>構造 ・図示</p> <p>※標仕 表22.5.3及び図22.5.1による</p> <p>溶接金網 ※使用する</p> <p>試験</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	舗装の種類	部 位	構 成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・150		歩行者用通路	・図示	○70	5 透水性	<p>5 樹木</p> <p>樹種、寸法、株立数等 ※図示 [23.3.2]</p>	<p>12 樹木の結核</p> <p>※引渡しの日から1年 () [23.3.4] [23.3.6]</p>	<p>その他特記事項</p>																																																				
舗装の種類	部 位	構 成	厚さ (mm)																																																																		
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・150																																																																		
	歩行者用通路	・図示	○70																																																																		
④ コンクリート舗装	<p>5 透水性</p>	6 支柱	<p>支柱材 ※丸太 (間伐材) ・真竹 [23.3.2、3]</p> <p>防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材</p> <p>形式 ・図示</p>	<p>その他特記事項</p>																																																																	
5 透水性	<p>6 ブロック系舗装</p> <p>・コンクリート平板舗装 [22.8.2、3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※普通平板 (N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・たたき出し</td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル</p> <p>普通平板は (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は (透水性コンクリート) とする。</p> <p>ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。</p> <p>仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・インターロッキングブロック舗装 [22.8.2、3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>形状寸法</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>・図示</td> <td>※5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>※80</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>※3.0</td> <td>張り方</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>※60</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ヘリンボンボン</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ストレッチャーバンド</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル</p> <p>歩行者用通路に使用するブロックは (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは (透水性コンクリート) とする。</p> <p>ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。</p> <p>仕上り面の平坦性 ※歩行の支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする</p>	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備 考	※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	表面加工	・透水性平板 (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し	・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し					・たたき出し	種 類	厚さ (mm)	形状寸法	曲げ強度 (N/mm ²)	備 考	※普通ブロック (N)	車路	・図示	※5.0	表面加工	・透水性ブロック (P)	※80	・	・	・	・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示	※3.0	張り方	・透水性ブロック (P)	※60	・	・	※ヘリンボンボン	・保水性ブロック (M)	・	・	・	・ストレッチャーバンド					・図示	7 砕石敷き	<p>種類 [22.9.2]</p> <p>・A種 (施工範囲: ・図示 ・通路 ())</p> <p>・B種 (施工範囲: ・図示 ・建物周囲その他 ())</p>	<p>その他特記事項</p>
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備 考																																																																	
※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	表面加工																																																																	
・透水性平板 (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し																																																																	
・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し																																																																	
				・たたき出し																																																																	
種 類	厚さ (mm)	形状寸法	曲げ強度 (N/mm ²)	備 考																																																																	
※普通ブロック (N)	車路	・図示	※5.0	表面加工																																																																	
・透水性ブロック (P)	※80	・	・	・																																																																	
・保水性ブロック (M)	・	・	・	・																																																																	
※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示	※3.0	張り方																																																																	
・透水性ブロック (P)	※60	・	・	※ヘリンボンボン																																																																	
・保水性ブロック (M)	・	・	・	・ストレッチャーバンド																																																																	
				・図示																																																																	
5 透水性	<p>6 ブロック系舗装</p> <p>・コンクリート平板舗装 [22.8.2、3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>施 工</th> <th>適 用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>※白</td> <td>・150</td> <td>・1.5</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※3種 1号</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>※ 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1種	常温	液状	※白	・150	・1.5	・2種	加熱	・	・	・100	・	※3種 1号	溶解	粉体状	・	・	・	7 砕石敷き	<p>7 砕石敷き</p> <p>種類 [22.9.2]</p> <p>・A種 (施工範囲: ・図示 ・通路 ())</p> <p>・B種 (施工範囲: ・図示 ・建物周囲その他 ())</p>	<p>その他特記事項</p>																																									
種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																
・1種	常温	液状	※白	・150	・1.5																																																																
・2種	加熱	・	・	・100	・																																																																
※3種 1号	溶解	粉体状	・	・	・																																																																
5 透水性	<p>9 車止め</p> <p>車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き</p> <p>全面接着アンカー併用固定 (影込み30mm増込65mm以上)</p>	9 吹付けは種	<p>種子の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備 考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上			・				<p>その他特記事項</p>																																																					
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備 考																																																																		
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																																																																				
・																																																																					
5 透水性	<p>9 車止め</p> <p>車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き</p> <p>全面接着アンカー併用固定 (影込み30mm増込65mm以上)</p>	9 地被類	<p>地被類 [23.4.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>植物の種類</th> <th>径</th> <th>単位面積当たりの株数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	植物の種類	径	単位面積当たりの株数	芽立数	・				・				<p>その他特記事項</p>																																																					
植物の種類	径	単位面積当たりの株数	芽立数																																																																		
・																																																																					
・																																																																					

工事場所：池田分団（旧池田小学校内）
鹿児島県肝属郡錦江町城元5324



付近見取図 S=1:15000 ○印は信号付交差点を示す。



配置図 S=1/100

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 福満設計
CO. LTD. F. ARCHITECTS. & ENGINEERS
鹿児島県鹿屋市寿八丁目10-10 / TEL. 0994-42-3867 FAX. 0994-42-3885

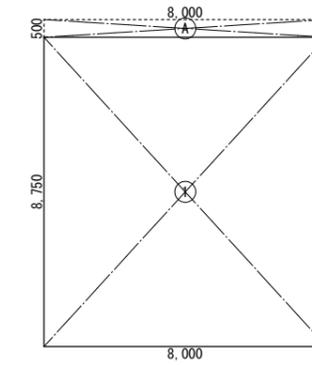
鹿児島県知事登録 第1-6-8号
管理建築士
一級建築士 福満哲也
登録番号 第96581号

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事 設計図
図名 付近見取図・配置図

DATE 2026.02 No. A-11
縮尺 (A1) S=1/100 (A3) S=1/200

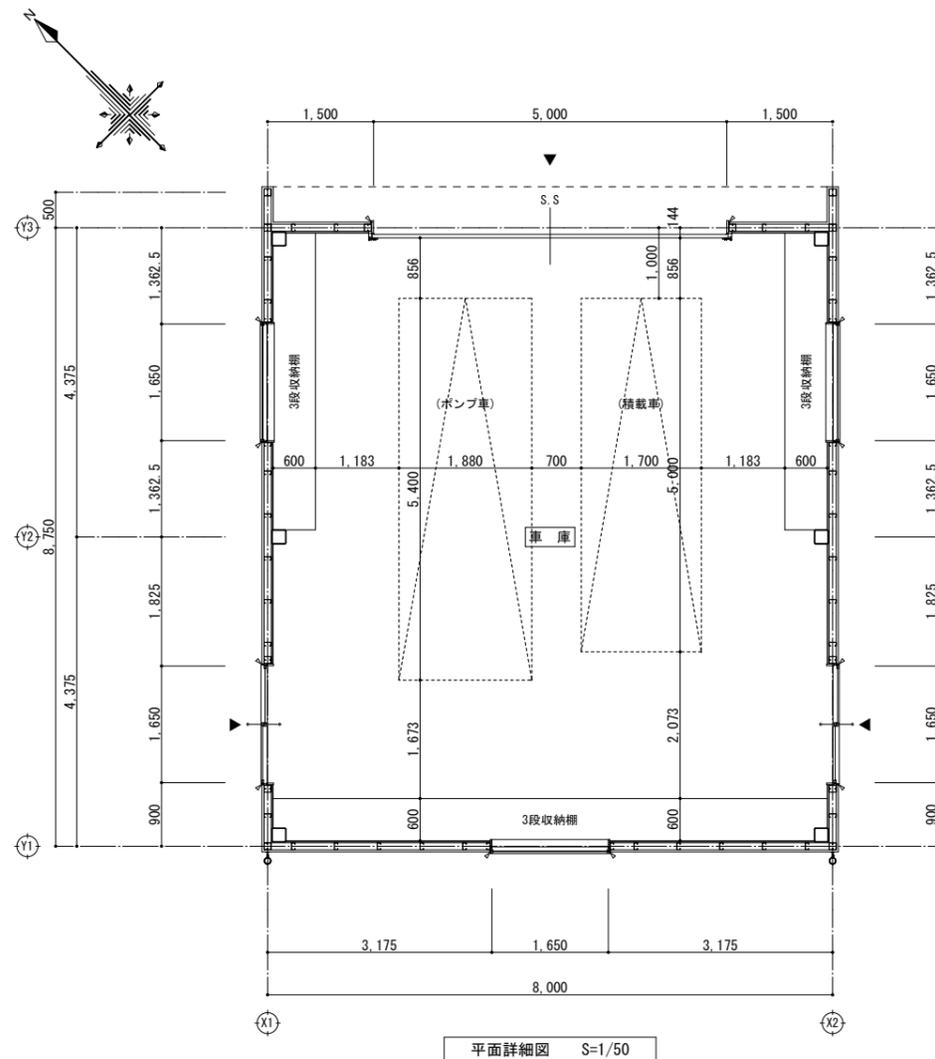
工事概要	
工事名称	令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事
工事場所	鹿児島県肝属郡錦江町城元地内
工事種別	新築
構造	鉄骨造 1階建
敷地面積	㎡
建築面積	74.00 ㎡
床面積	延床面積 70.00 ㎡
主要用途	車庫
用途地域	都市計画区域外
防火地域	指定なし

外部仕上表	
屋根	厚0.677' 軽鋼添加が 鋼板折板葺き (ハセ式、山高90) 断熱材裏打ち (参考: 日鉄鋼板、SGL鋼板 同等品)
笠木	アルミ笠木 (ブラック) W=200
軒裏	厚6.0有孔けい酸カルシウム板目透し張り EP-G塗
外壁	厚16窯業系サイディング横張り (塗装品、通気金具留工法、出隅コーナー同質短尺役物納め) 透湿防水シート下地 (参考: ケイミマ、板木目16 同等品)
巾木	コンクリート打放し補修
水切り	カラー鋼板製水切り
樋	軒樋: 折板用前高型角樋 W=150 樋吊金物: SUS製 @1,000以下 縦樋: 硬質カラー塩ビ管 (VP) φ75 樋み金物: SUS製 @1,000以下
開口部	サッシ: 住宅用カラーアルミサッシ、シャッター: 重量スチールオーバーヘッドドア (パネル材: t=0.5)
庇	アルミ製庇 W=1,900、D=600



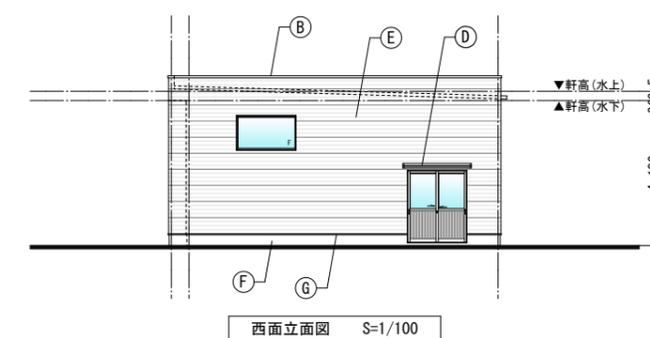
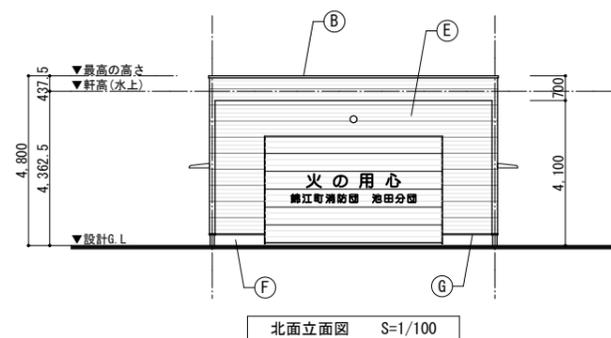
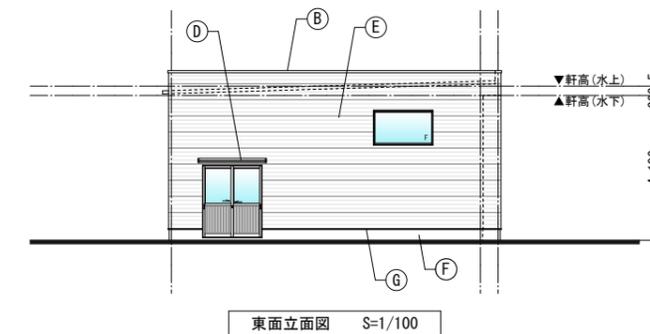
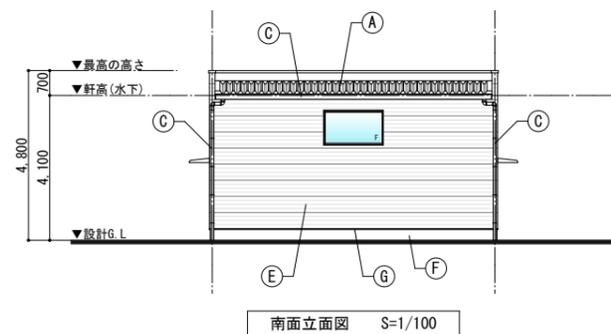
面積計算表		
①	8,000 × 8,750	70,000 ㎡
②	8,000 × 0,500	4,000 ㎡
延床面積	①	70.00 ㎡ (21.17 坪)
建築面積	① + ②	74.00 ㎡ (22.38 坪)

内部仕上表							
室名	床	巾木	壁	天井	下地	天井高	備考
車庫	コンクリート直均し仕上	コンクリート打放し補修	厚8.0けい酸カルシウム板目透し張り EP-G塗 柱型: 鋼材アラワシ SOP塗	厚6.0けい酸カルシウム板目透し張り EP-G塗	軽天下地 (19形@303)	3,550	3段収納棚、換気扇



屋根仕上表			
①	屋根: 厚0.677' 軽鋼添加が 鋼板折板葺き (ハセ式、山高90) 断熱材裏打ち	②	外壁: 厚16窯業系サイディング横張り、透湿防水シート下地 (塗装品、通気金具留工法、出隅コーナー同質短尺役物納め)
③	笠木: アルミ笠木 W=200	④	巾木: コンクリート打放し補修
⑤	軒樋: 折板用前高型角樋 W=150、樋吊金物: SUS製 @1,000以下 縦樋: 硬質カラー塩ビ管 (VP) φ75、樋み金物: SUS製 @1,000以下	⑥	水切り: カラー鋼板製水切り
⑦	アルミ製庇 W=1,900、D=600		

※屋根ふき材にあつては、建告第109号に適合すること。



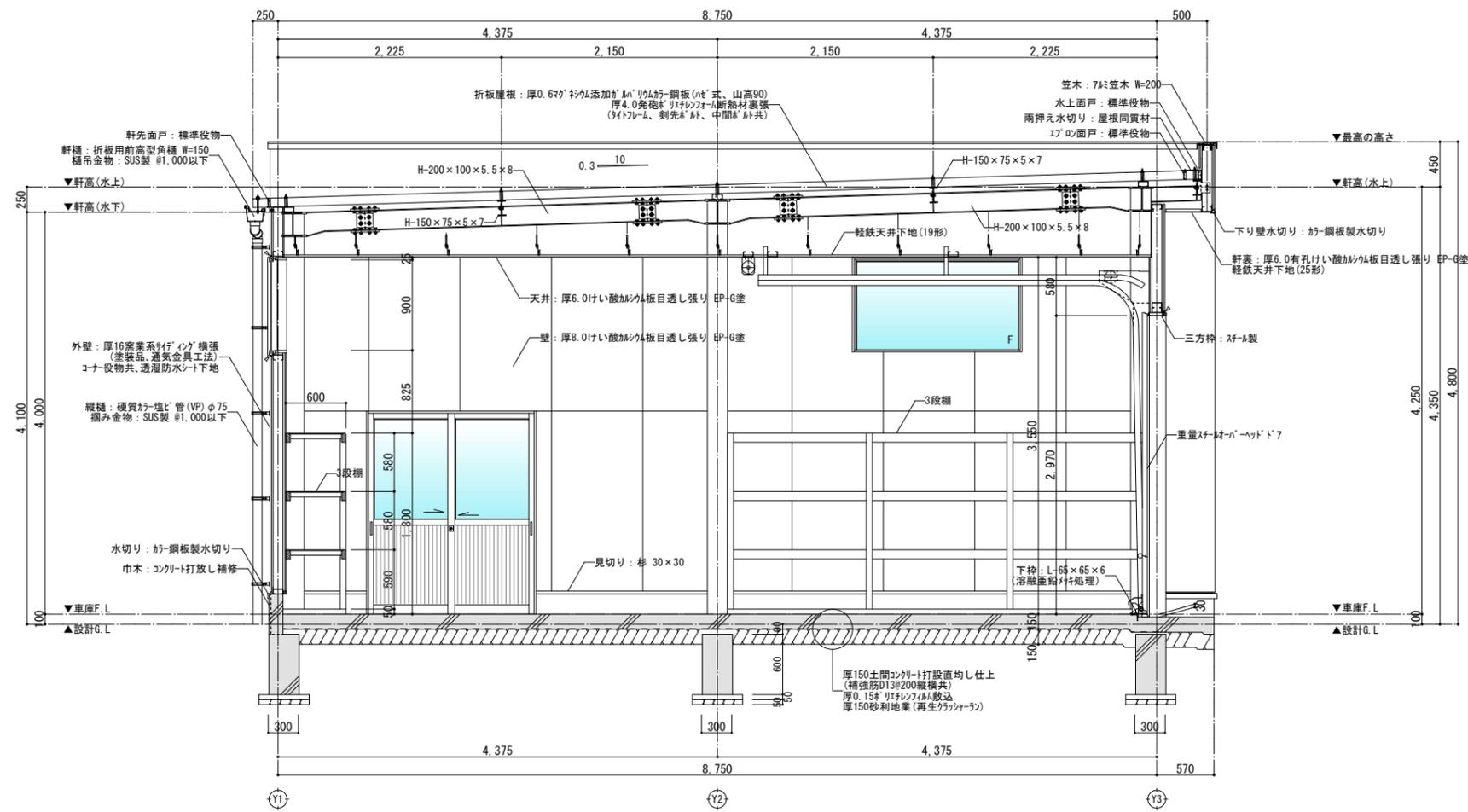
特記事項

一級建築士事務所
株式会社 福満設計
CO. LTD. F. ARCHITECTS. & ENGINEERS
鹿児島県鹿屋市寿八丁目10-10 / TEL. 0994-42-3867 FAX. 0994-42-3885

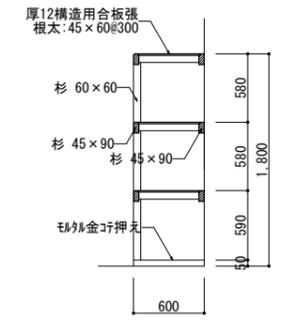
鹿児島県知事登録 第1-6-8号
管理建築士
一級建築士 福満哲也
登録番号 第96581号

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事 設計図
図名 仕上表・面積表・平面詳細図・立面図

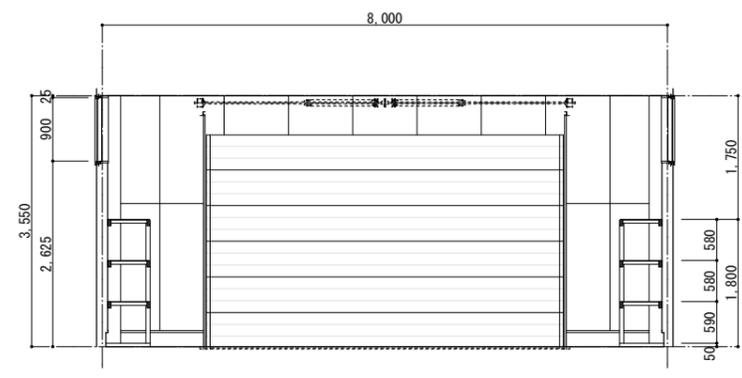
DATE 2026.02
No. A-12
縮尺 (A1) S=1/50・100 (A3) S=1/100・200



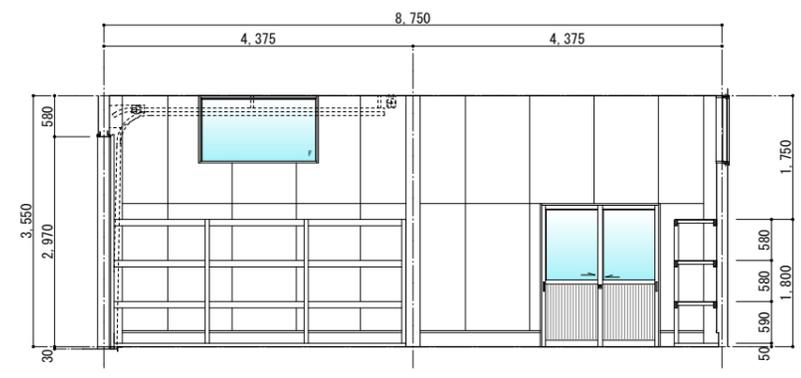
断面詳細図 S=1/30



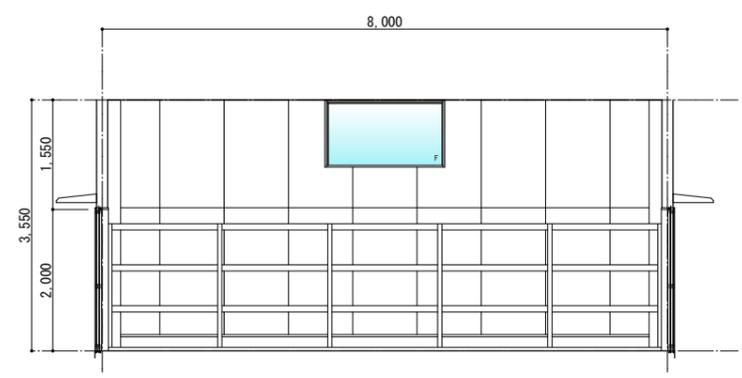
3段柵 部分詳細図 S=1/30



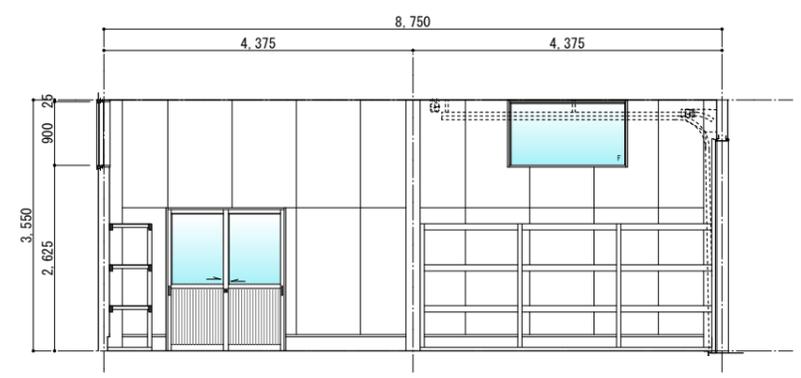
車庫 A面展開図 S=1/50



車庫 B面展開図 S=1/50

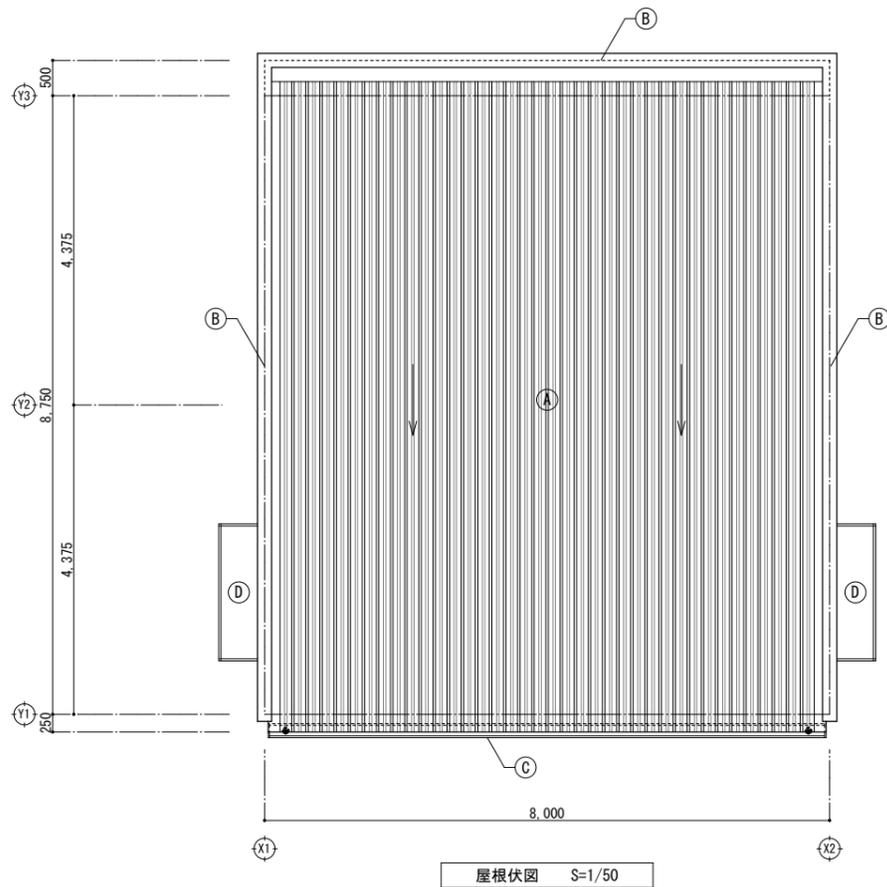


車庫 C面展開図 S=1/50



車庫 D面展開図 S=1/50

通路	
天井	厚6.0けい酸カルシウム板目透し張り EP-G塗
壁	厚8.0けい酸カルシウム板目透し張り EP-G塗 柱型: 鋼材アラウシ SOP塗
腰壁	同上
床	コンクリート直均し仕上
廻縁	塩ビ製廻り縁
巾木	コンクリート打放し補修
備考	3段収納柵、換気扇

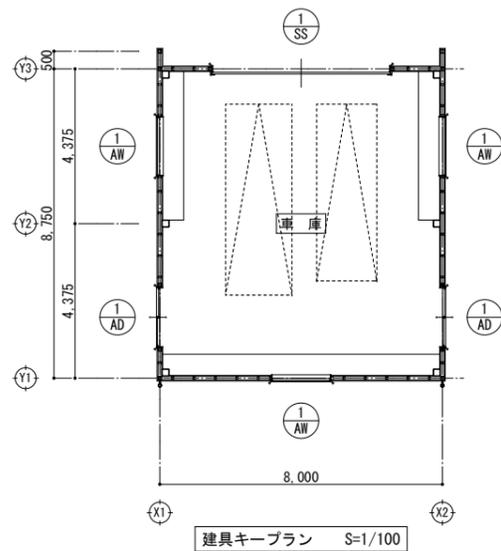
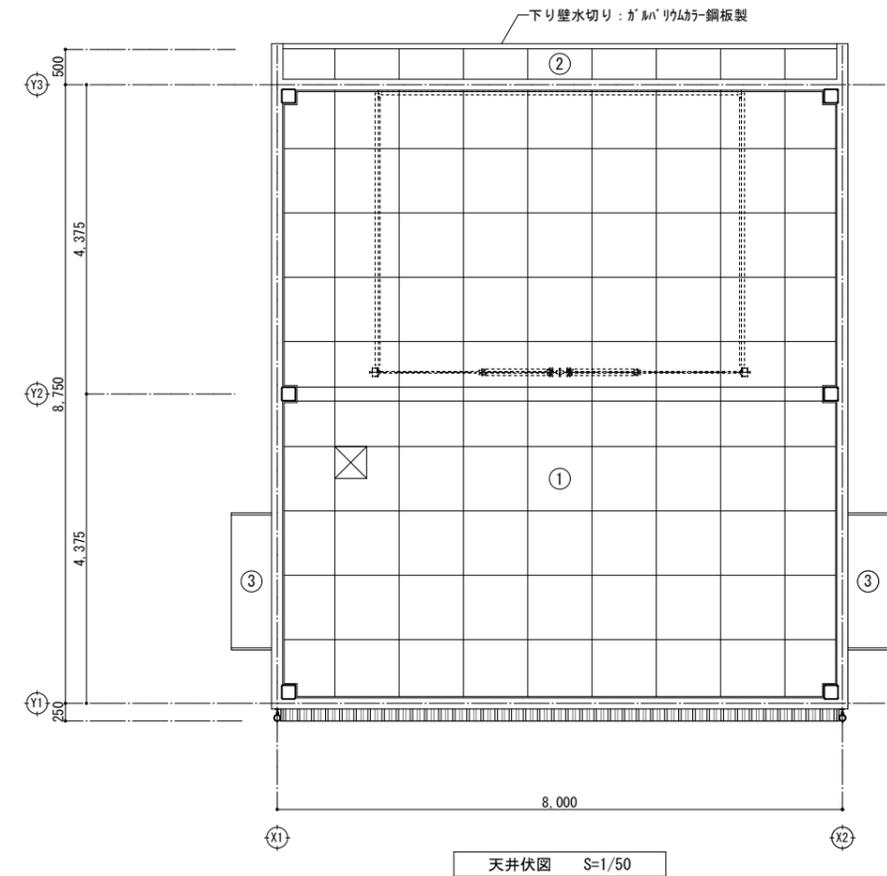


屋根仕上表	
Ⓐ	屋根：厚0.6mmポリイソシアヌレート添加がま鋼板折板葺き（H型、山高90） 断熱材裏打ち
Ⓑ	笠木：アルミ笠木 W=200
Ⓒ	軒樋：折板用前高型角樋 W=150、樋吊金物：SUS製 @1,000以下
Ⓓ	アルミ製庇 W=1,900、D=600

※屋根ふき材にあつては、建告第109号に適合すること。

天井仕上表	
①	厚6.0けい酸カルシウム板目透し張り EP-G塗
②	厚6.0有孔けい酸カルシウム板目透し張り EP-G塗
③	アルミ製庇 W=1,900、D=600
⊠	天井点検口：アルミ製 450×450

※特記無き廻り縁は塩ビ製廻り縁とする。



特記事項
アルミ製建具の製作にあつては、現場実測の上施工図作成、承諾後製作する事。
アルミ製建具の性能・使用材料は、各メーカー標準仕様とする。
アルミ製建具は、住宅用建具とし、全てカラー製品とする。
硝子止材はシリコーン系シーリング(SR-1)とする。
アルミ製建具枠回りは、変成シリコーン系シーリング(MS-2)施工の事。

建具表 S=1/50 ※引き込み、開き勝手はキープランを参照の事

符号	室名		車庫		車庫		車庫	
	個数	1 SS	1 Set	2 Set	1 AD	2 Set	1 AW	3 Set
姿(外観)								
			▽天井高(3,550)		▽天井高(3,550)		▽天井高(3,550)	
型式			重量スチールオーバーヘッドドア（手動パナマ方式・ローヘッド型）		土間引戸		FIX窓	
仕上・見込			パネル：塗装溶融亜鉛めっき鋼板、t=0.5、パネル厚50mm 框、レール・固定枠：溶融亜鉛めっき鋼板		アルミカラー（住宅用半外付） 見込80		アルミカラー（住宅用半外付） 見込80	
硝子					強化型板 4mm、腰：アルミパネル		強化透明 4mm	
金物			外部顔縁（溶融亜鉛めっき鋼板）、下枠：L-65×65×6（溶融亜鉛めっき処理）		アルミ顔縁 引手、シリング錠+錠+錠、ステンレール、戸車、他付属品一式		アルミ顔縁、他付属品一式	
備考			文字書き「火の用心」400角、「錦江町消防団 池田分団」250角					

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

1.1 適用範囲

この配筋要領は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等の鉄筋工事に適用する。また、特記なき事項は公共建築協会編「公共建築工事標準仕様書 平成25年版」、JAS S 5による。

1.2 記号

d…異形棒の呼び名に用いた数字 丸線は径 D…部材の成 R…直径
 @…間隔 r…半径 C…中心線 O…部材間の内法距離 h…部材間の内法高さ
 S T…あばら筋 HOOP…帯筋 S HOOP…帯筋 φ…直径又は丸線

1.3 鉄筋の表示記号

記号	●	×	○	●	○	◎	◎
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29

2. 加工及び組立

2.1 適用範囲

鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工して組み立てる。

2.2 加工

(a) 次の部分に使用する異形鉄筋の束端部には、フックを付ける。

- 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合
- 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く。）
- 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）
- 杭基礎のベース筋
- 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

(b) 鉄筋の折曲げ形状及び寸法は、表 2.1 及び表 2.2 による。

表 2.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法（束端部）

折曲げ角度	折曲げ間	折曲げ内法距離 (R)		
		S D 295A, S D 295B, S D 345 D16以下	S D 390 D19~D28	S D 390 D19~D28
180°		3d以上	4d以上	5d以上
		3d以上	4d以上	5d以上
135°		3d以上	4d以上	5d以上
		3d以上	4d以上	5d以上
90°		3d以上	4d以上	5d以上
		3d以上	4d以上	5d以上
135°及び90° (幅止め筋)		3d以上	4d以上	5d以上
		3d以上	4d以上	5d以上

(注) 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

2.2 鉄筋の折曲げ形状及び寸法（中間部）

図	鉄筋の折曲げ形状による区分	鉄筋の種類		鉄筋の折曲げ内法の寸法 (R)
		S D 295A, S D 295B, S D 345	S D 390	
	帯筋、あばら筋、スパイラル筋	D16以下	3d以上	3d以上
		D19以上	4d以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	D16以下	4d以上	4d以上
		D19~D25	6d以上	6d以上
		D29~D38	8d以上	8d以上

2.3 継手及び定着

(a) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手とし、適用は特記による。

(b) 鉄筋の重ね継手は、次による。

なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

- 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、40dと表 2.3 の重ね継手長さのうち大きい値とする。
- (1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表 2.3 による。

表 2.3 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L ₂ (フックあり)
S D 295A S D 295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
S D 345	30, 33, 36	35d	25d
	18	50d	35d
	21	45d	30d
S D 390	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
	21	50d	35d

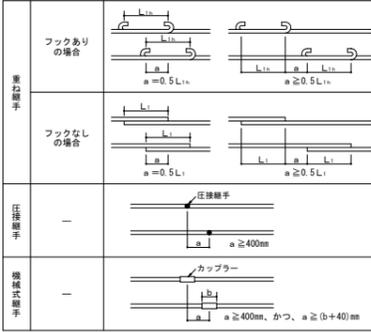
(注) 1. L₁, L₂: 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
 2. フックありの場合の L₂ は、図 2.1 に示すようにフック部分 φ を含まない。



図 2.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(c) 隣り合う継手の位置は、表 2.4 による。ただし、壁の場合及びスラブ筋で D16 以下の場合は除く。なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所に行ける場合は、特記による。

表 2.4 隣り合う継手の位置



(c) 鉄筋の定着は、次による。

- 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、40dと表 2.5 の定着長さのうち大きい値とする。
- (1) 以外の鉄筋の定着の長さは、表 2.5 による。

表 2.5 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	フックなし		フックあり	
		L ₁	L ₂	L ₁	L ₂
S D 295A S D 295B	18	45d	40d	35d	30d
	21	40d	35d	30d	25d
	24, 27	35d	30d	25d	20d
S D 345	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d
	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
S D 390	24, 27	40d	35d	30d	25d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d
	21	50d	40d	35d	30d

(注) 1. L₁, L₂: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
 2. L₁, L₂: 鋼管埋込み等のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
 3. L₁: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎筋圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
 4. L₂: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
 5. フックありの場合、表 2.6 に示すようにフック部分 φ を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

(c) 定着の方法は、図 2.2 による。

なお、柱内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さ L₁ が、表 2.5 のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を表 2.6 に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を 8d、柱口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表 2.6 に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいりの 3/4 倍以上）をのみ込ませる。

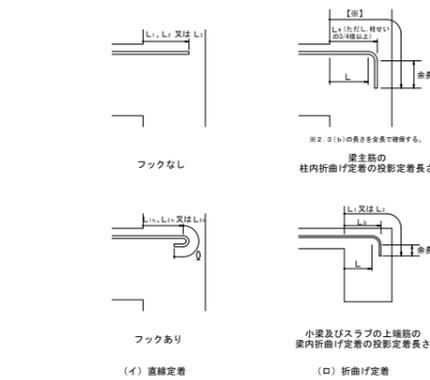


図 2.2 定着の方法

表 2.6 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L ₁	L ₂
S D 295A S D 295B	18	20d	15d
	21	15d	10d
	24, 27	10d	5d
S D 345	30, 33, 36	15d	10d
	18	20d	15d
	21	15d	10d
S D 390	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	10d
	21	20d	15d

(注) 1. L₁: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
 2. L₂: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）

(d) その他の鉄筋の継手及び定着は、次による。

- 溶接金網の継手及び定着は、図 2.3 による。なお、L₁及びL₂は表 2.5 の(注)による。

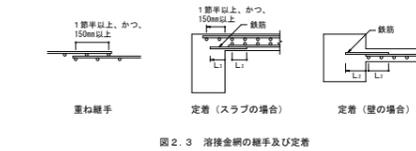


図 2.3 溶接金網の継手及び定着

(2) スパイラル筋の継手及び定着は、図 2.4 による。

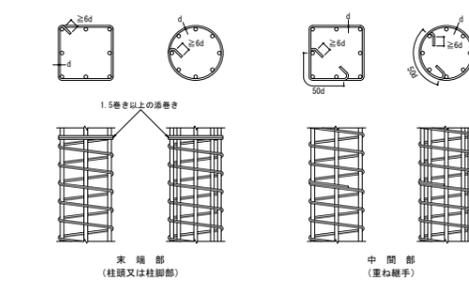


図 2.4 スパイラル筋の継手及び定着

2.4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表 2.7 による。ただし、柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを 1.5 倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表 2.7 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ (単位: mm)

構造部分の種類	最小かぶり厚さ	
	鉄筋	溶接金網
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	20
	仕上げあり	30
	仕上げなし	30
土に接する部分	柱、梁、耐力壁	40
	仕上げあり	30
	仕上げなし	40
煙突等高温を受ける部分	基礎、耐力スラブ	60
	柱、梁、スラブ、耐力壁	60

(注) 1. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性に有効でない仕上げ（仕上げ塗料、塗装等）のものを除く。
 2. スラブ、梁、基礎及び煙突で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、推定コンクリートの厚さを含まない。
 3. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 4. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに 10mm を加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは図 2.5 により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、特記による。

- 粗骨材の最大寸法の 1.25 倍
- 25mm
- 隣り合う鉄筋の平均径 (1.2 による d) の 1.5 倍



図 2.5 鉄筋相互のあき

(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d) による。

(f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c) による。

3. 基礎及び基礎梁の配筋

3.1 杭基礎

- 既製コンクリート杭の杭頭部の補強方法は、図 3.1 の A 形又は B 形とし、適用は特記による。特記がなければ、B 形とする。
- 中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ強度のコンクリートを使用する。
- 既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。

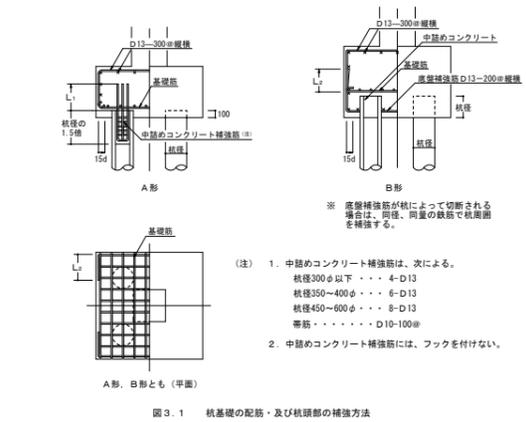


図 3.1 杭基礎の配筋方法及び杭頭部の補強方法

3.2 直接基礎

(a) 直接基礎（独立基礎）の場合の配筋は、図 3.2 による。

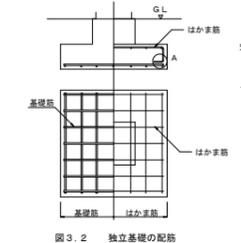


図 3.2 独立基礎の配筋

(b) 直接基礎（連続基礎）の場合の配筋は、図 3.3 による。

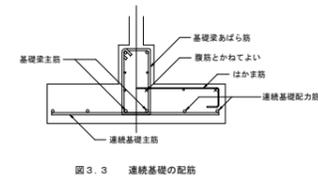


図 3.3 連続基礎の配筋

3.3 基礎接合部の補強

基礎接合部の補強配筋は、図 3.4 による。

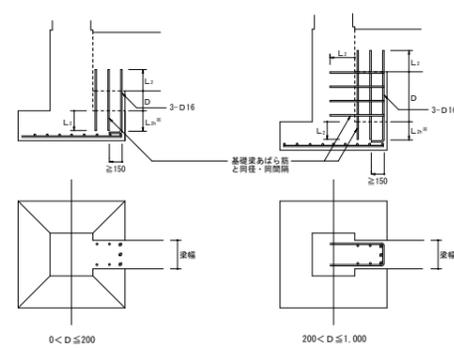


図 3.4 基礎接合部の補強配筋

3.4 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

(a) 一般事項

- 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 3.5 による。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、5.1 (a) (2) による。

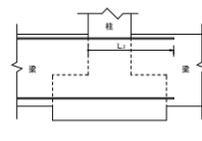


図 3.5 梁筋の基礎梁内への定着

(b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図 3.6 による。

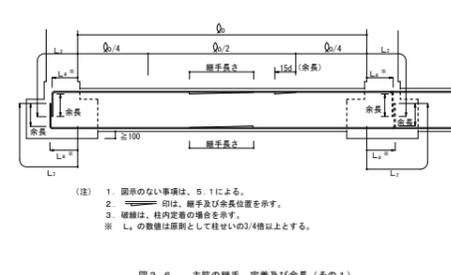
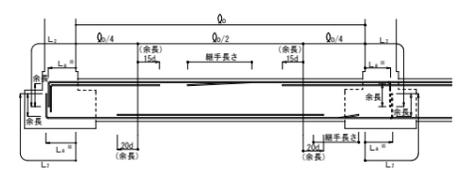


図 3.6 主筋の継手、定着及び余長（その 1）

(注) 1. 図示のない事項は、5.1 による。
 2. φ は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 ※ L₁ の数値は原則として柱せいりの 3/4 倍以上とする。

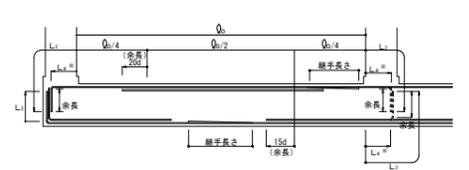
(c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図 3.7 による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d) による。



(注) 1. 図示のない事項は、5.1 による。
 2. φ は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 ※ L₁ の数値は原則として柱せいりの 3/4 倍以上とする。

図 3.7 主筋の継手、定着及び余長（その 2）

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図 3.8 による。



(注) 1. 図示のない事項は、5.1 による。
 2. φ は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 ※ L₁ の数値は原則として柱せいりの 3/4 倍以上とする。

図 3.8 主筋の継手、定着及び余長（その 3）

3.5 基礎梁のあばら筋

あばら筋組立の形及びフックの位置は、5.2 (a) による。ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが 1.5m 以上の場合は、図 3.9 によることができる。

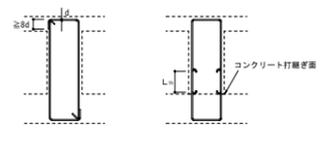
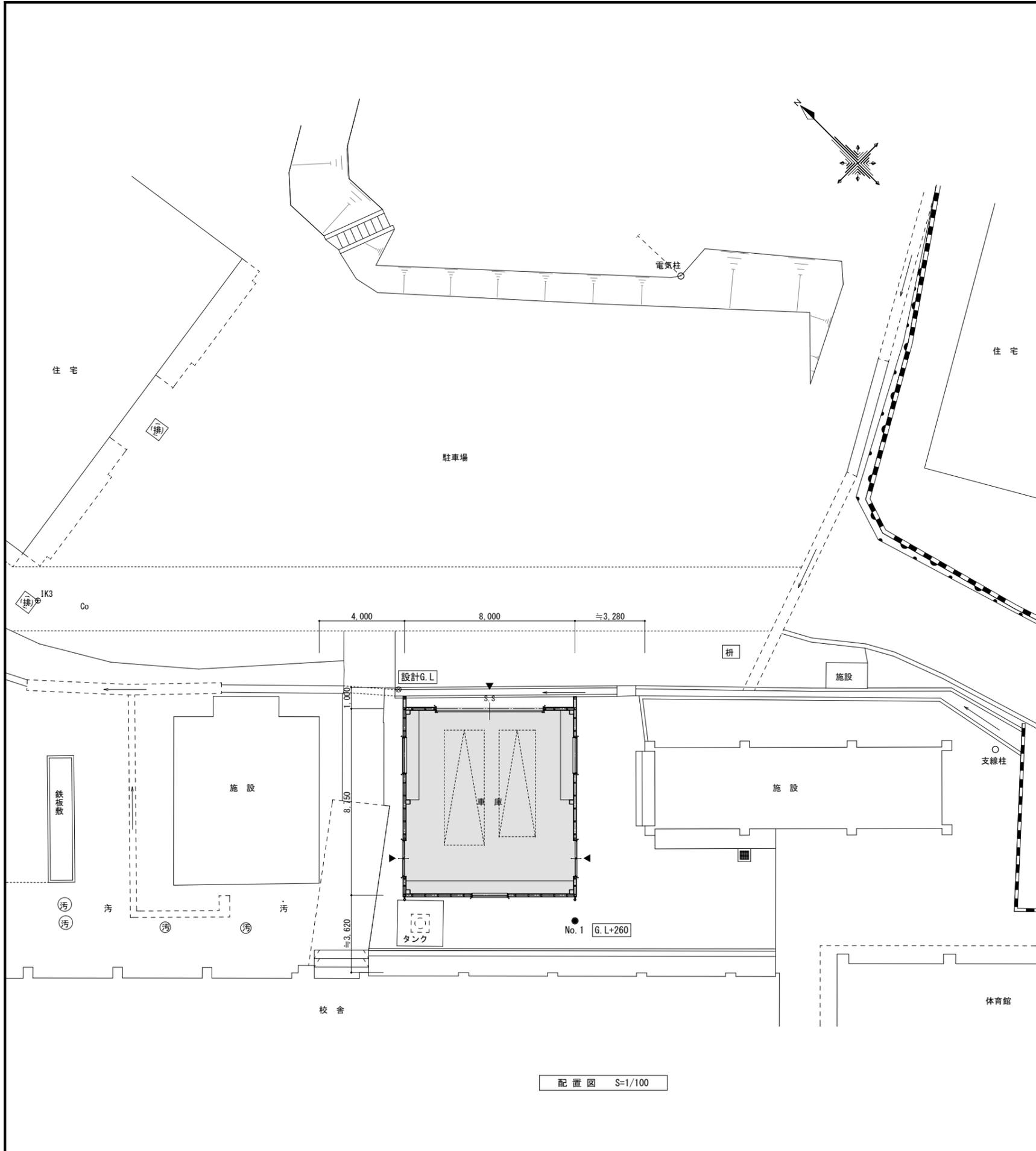
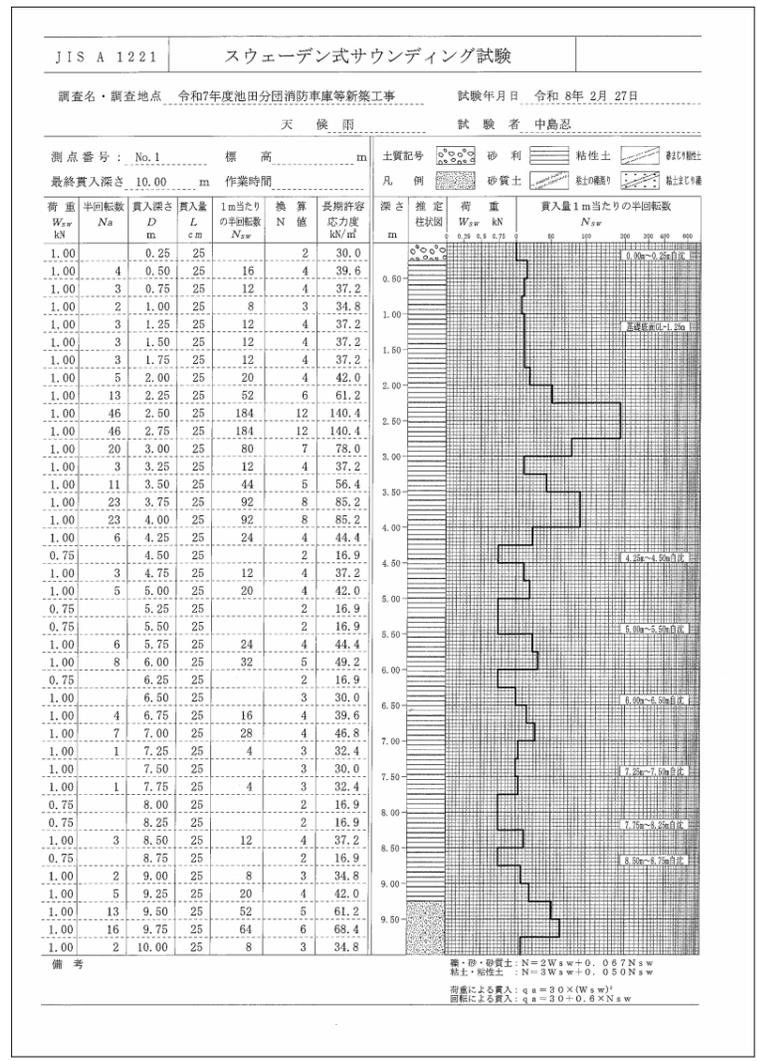
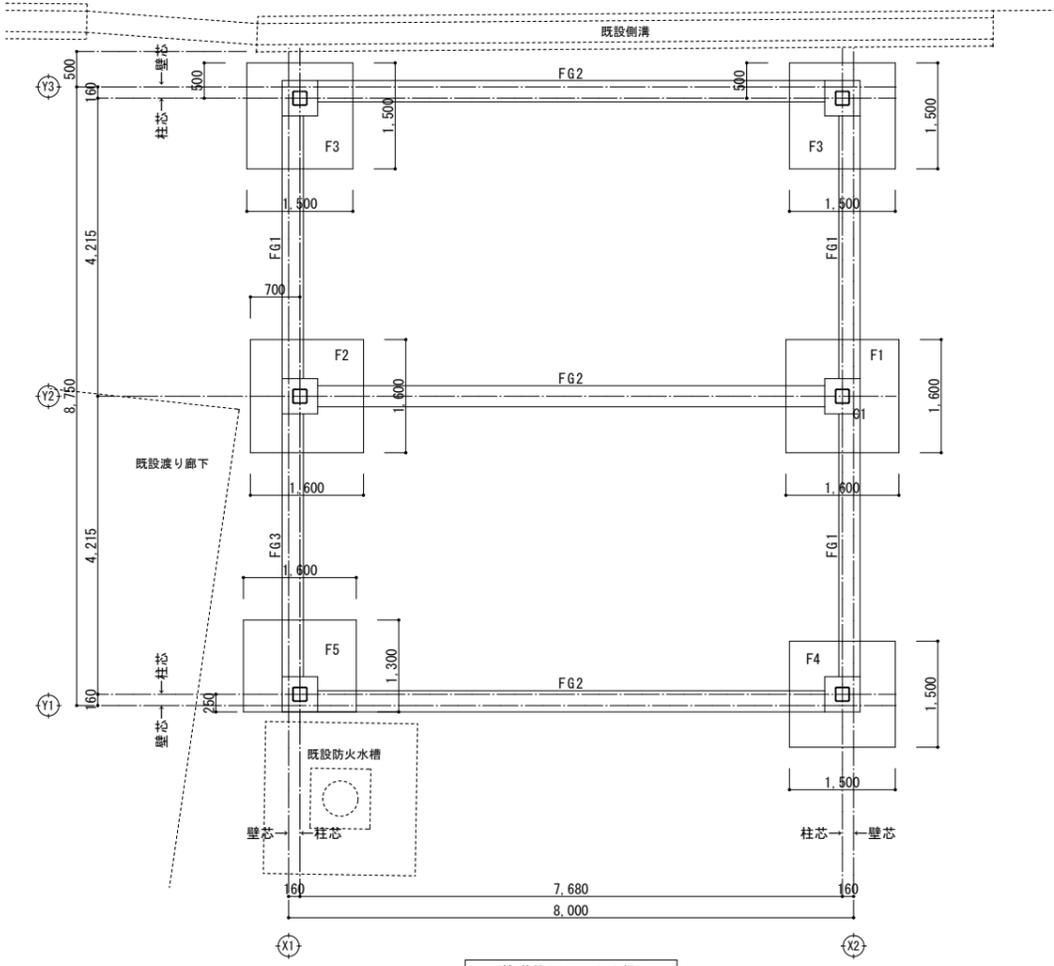


図 3.9 あばら筋組立の形及びフックの位置

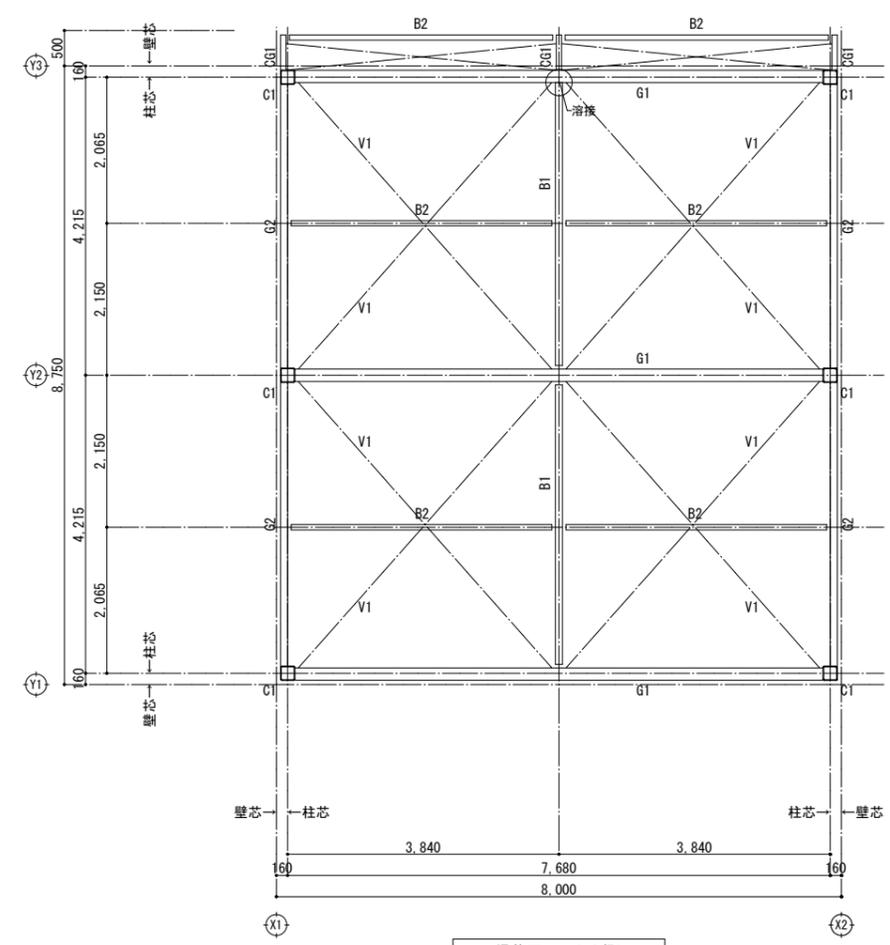


配置図 S=1/100

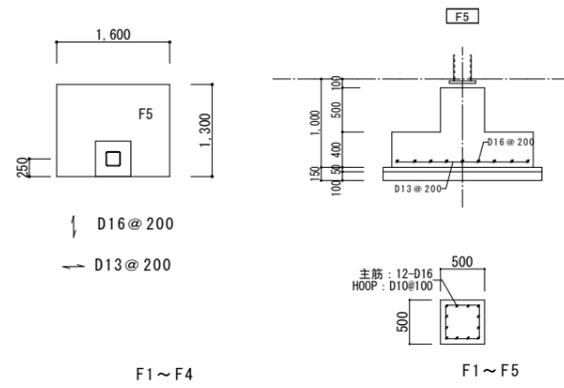




基礎伏図 S=1/50



梁伏図 S=1/50



F1~F4
基礎の大きさは伏図による。
D13@200
D13@200

地中梁リスト S=1:40

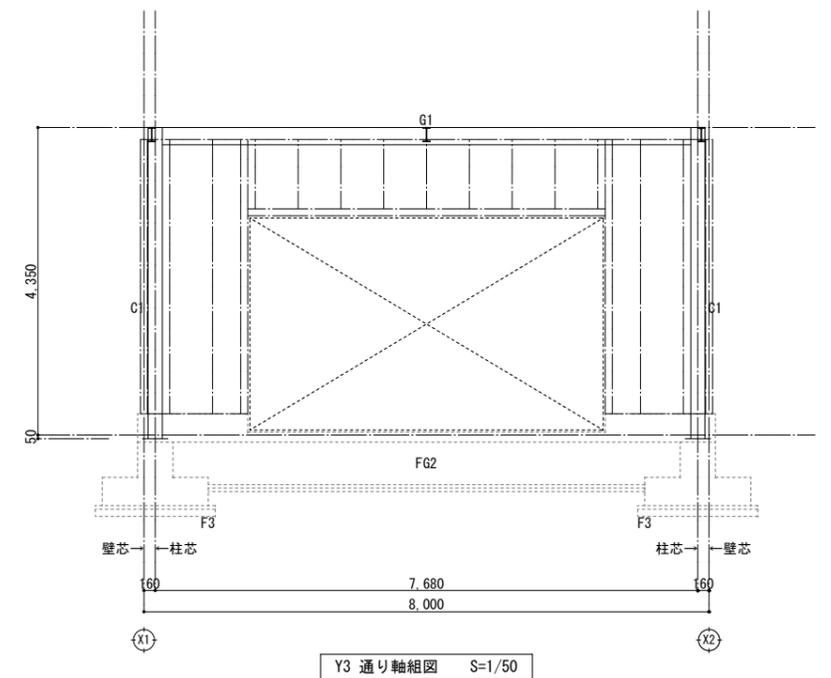
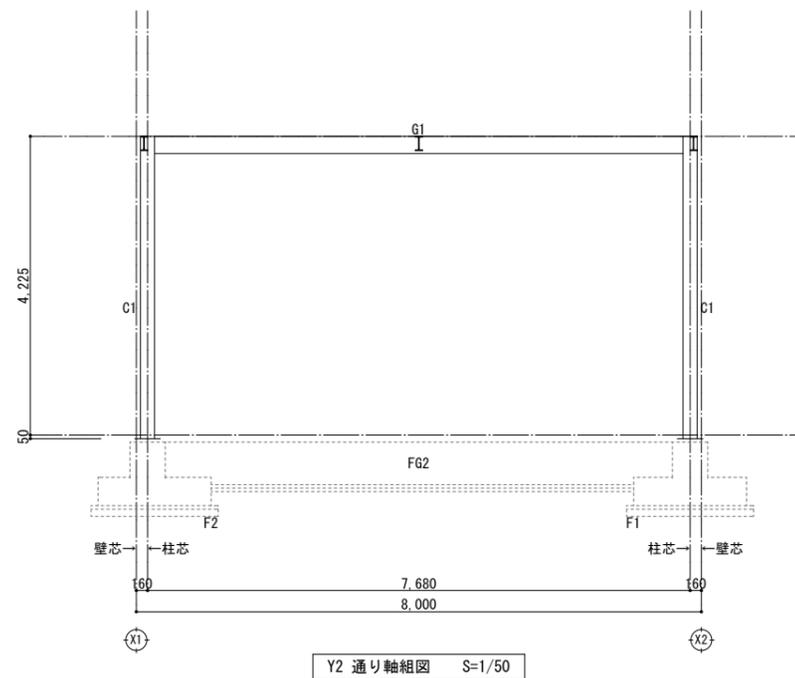
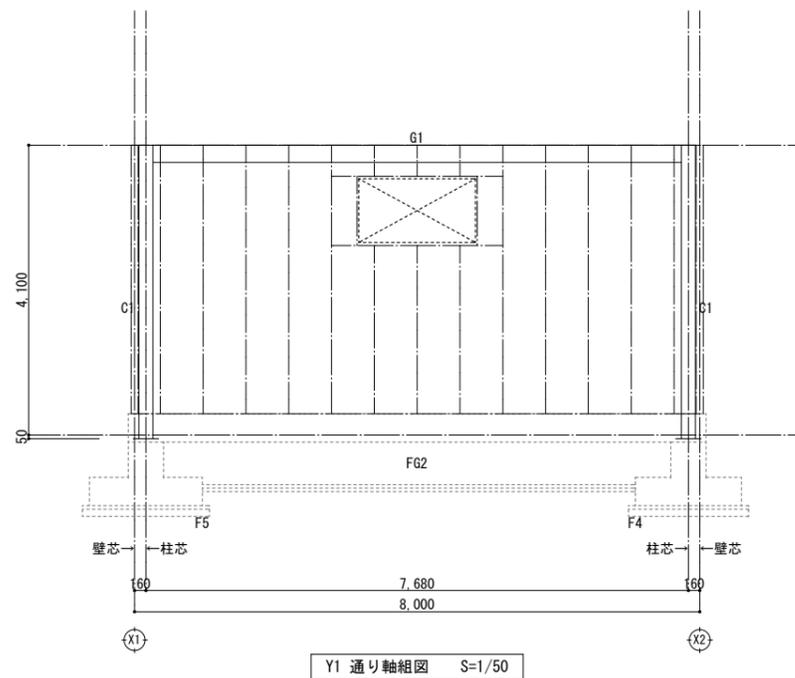
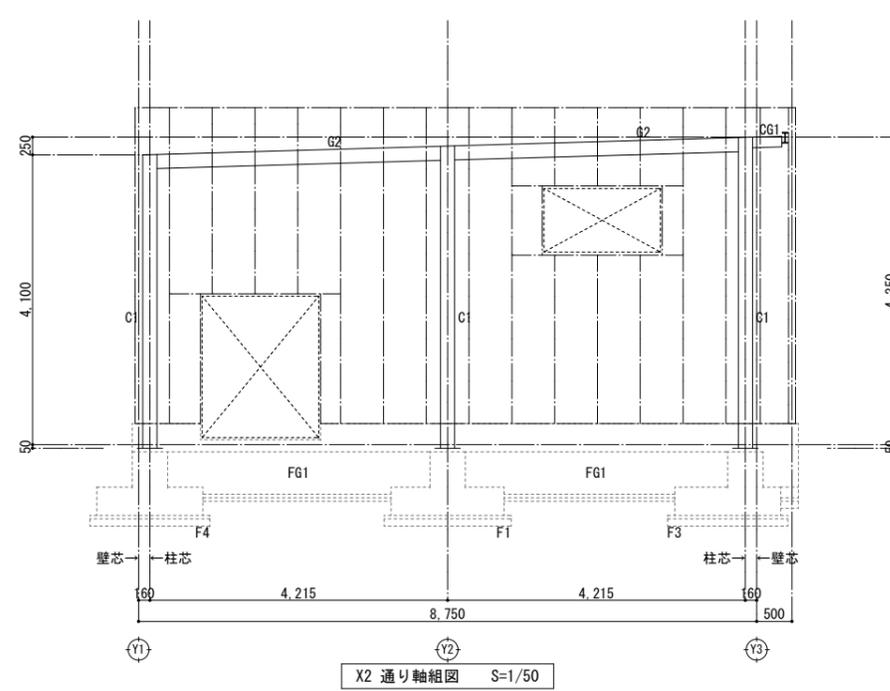
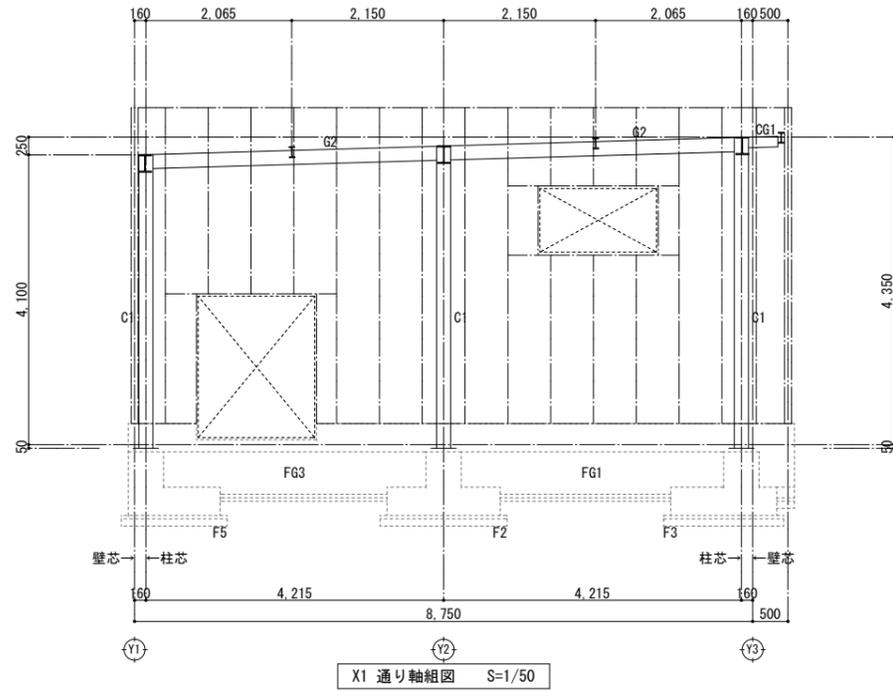
記号	FG1	FG2		FG3		立上り壁 全断面
	全断面	外端	中央	外端・中央	内端	
位置						
配筋						
断面	300x600	300x600		300x600		
上端筋	2-D19	4-D19	2-D19	3-D19	2-D19	
下端筋	2-D19	2-D19	3-D19	4-D19	2-D19	
腰筋	2-D10	2-D10		2-D10		
スタラップ	D10@200	D10@200		D10@200		

鉄骨部材リスト

SN400B		SS400			
G1	H-244x175x7x11	継手は架構図詳細	B1	H-200x100x5.5x8	GPL-6 HTB 2-M16
G2	H-200x100x5.5x8	継手は架構図詳細	B2	H-150x75x5x7	GPL-6 HTB 2-M16
C61	H-150x75x5x7				
BCR295			屋根ブレース	JIS M12φ-ﾊﾞｯｸﾙ付き	
C1	□-200x200x9	BPL-22 A. B4-M16 L=500	胴縁	C-100x50x20x2.3-#606	PL-3.2 2-M12

鉄骨部材リスト

SN400B			SS400		
G1	H-244x175x7x11	継手は架構図詳細	B1	H-200x100x5.5x8	GPL-6 HTB 2-M16
G2	H-200x100x5.5x8	継手は架構図詳細	B2	H-150x75x5x7	GPL-6 HTB 2-M16
CG1	H-150x75x5x7				
BCR295			屋根プレス	JIS M12ターンバックル付き	
C1	□-200x200x9	BPL-22 A.B4-M16 L=500	胴縁	C-100x50x20x2.3-@606	PL-3.2 2-M12



特記事項

一級建築士事務所
株式会社 福満設計
 CO. LTD. F. ARCHITECTS. & ENGINEERS
 鹿児島県鹿児島市寿八丁目10-10 / TEL. 0994-42-3867 FAX. 0994-42-3885

鹿児島県知事登録 第1-6-8号
 管理建築士
 一級建築士 福満哲也
 登録番号 第96581号

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事 設計図
 図名 軸組図

DATE 2026.02
 縮尺 (A1) S=1/50 (A3) S=1/100

No. S-07

特記仕様書
1. 工事概要
2. 建物概要
3. 一般事項
4. 電気設備
5. 配管
6. 電気設備
7. 電気設備
8. 電気設備
9. 電気設備
10. 電気設備
11. 電気設備
12. 電気設備
13. 電気設備
14. 電気設備
15. 電気設備
16. マンホール

項目
特記事項
① 製作図その他
② 工事打合せ
③ 立会検査を受ける
④ 施工工程
⑤ 工事報告
⑥ 完成図
⑦ 試験成績書
⑧ 申請書類
⑨ 完成図書
⑩ 接地抵抗値
⑪ マンホール

項目
特記事項
① プレート
② 配管の接続
③ ケーブル配線
④ 産業建築物の処理
⑤ 電線の色別
⑥ 接地抵抗値
⑦ 電線の使用電圧

項目
特記事項
③ 照明器具の取付
4. 電線径の長さ
④ 配電ボックス
⑤ 位置ジョイントボックス
⑦ 機器の取付高さ
⑧ 分電盤制御盤
9. ヒューズ等の予備数
10. 電柱および照明材料
⑩ 照度器具等
⑪ ボックスの絶縁塗装
13. 避雷針
⑫ 接地工事および接地棒
⑬ 金属管配線
1. 相の色別
2. 高圧母線のサイズ
3. 受配電盤
4. 接地工事および接地棒
5. 母線相互の間隔など
6. ヒューズ等の予備数
8. その他

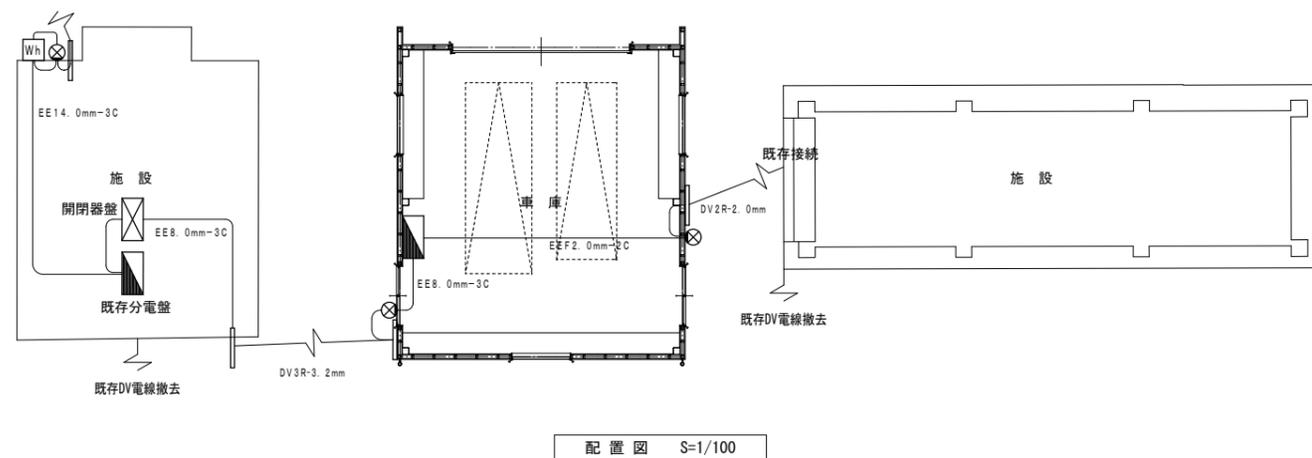
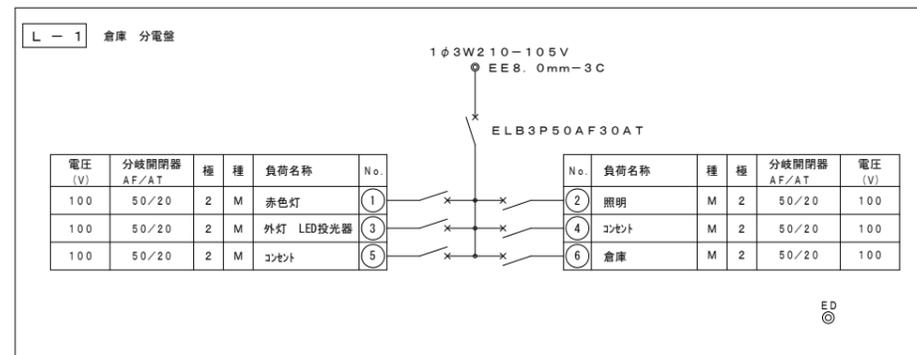
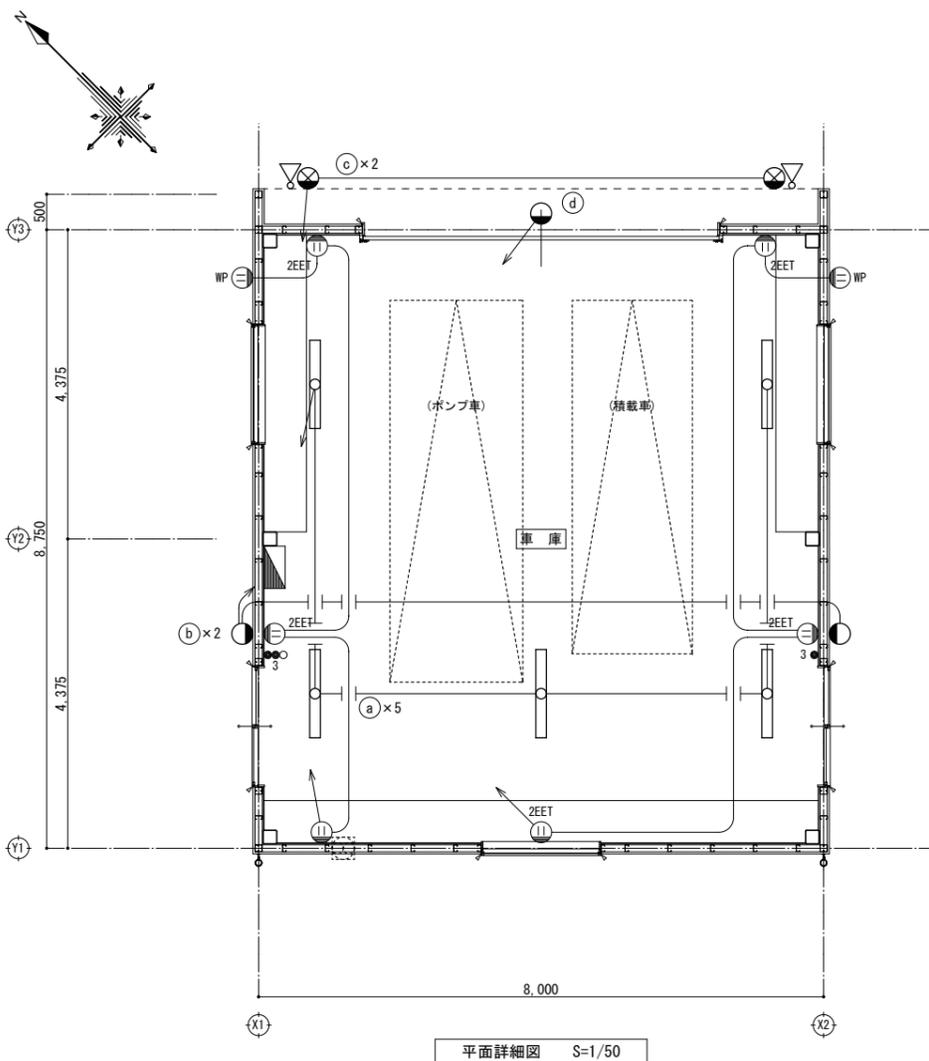
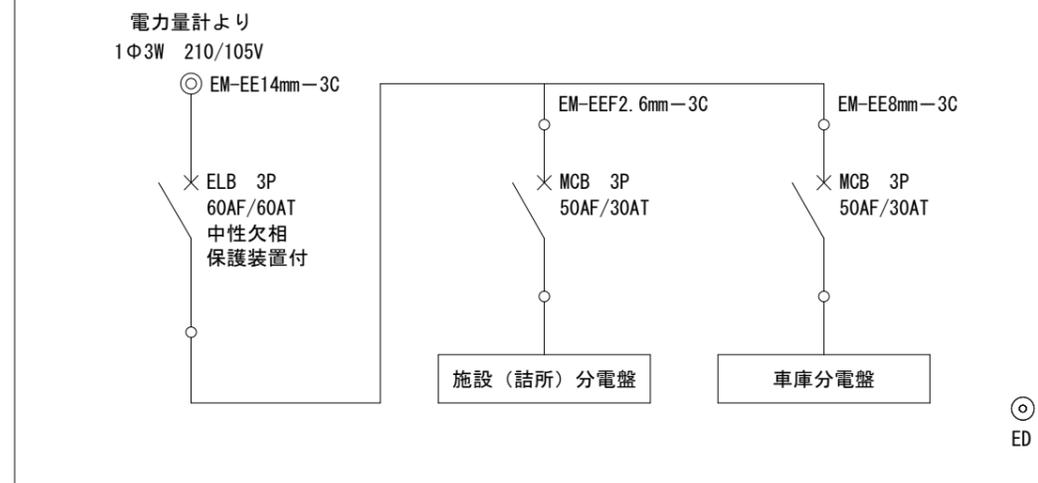
項目
特記事項
1. 発電装置
2. 端子盤
3. 電柱及び支柱材料
4. 接地工事および接地棒
5. ヒューズ等の予備数
6. 機器の取付高さ
7. 位置ボックスおよびジョイントボックス
8. 絶縁抵抗値
9. 避雷針
10. 電線径の長さ
11. 電線の色別
12. 電線径の長さ
13. 電線径の長さ
14. 電線径の長さ
15. 電線径の長さ
16. 電線径の長さ
17. 電線径の長さ
18. 電線径の長さ
19. 電線径の長さ
20. 電線径の長さ

照明器具表

器具は同等品とする事。

<p>a LED直付灯 (Hf32W高出力x2灯相当) 車庫 5台</p> <p>消費電力 53.3W 5000K 公共施設型番: LSS9-4-65</p>  <p>XLX460AENTLE9 (昼白色) (ハナマツカ)</p>	<p>b LEDポーチライト (40形電球1灯器具相当) 外部 2台</p> <p>消費電力 4.5W 2700K 防雨型 人感センサー付</p>  <p>LGN080203LE1 (電球色) (ハナマツカ)</p>
<p>c LED投光器 (水銀灯200形相当) 外部 2台</p> <p>消費電力 43.3W 5000K 防雨型・防噴流型・耐塵型 耐風速60m/s</p>  <p>NYS15141KLE9 (昼白色) (ハナマツカ)</p>	<p>d LED赤色灯 外部 1台</p> <p>防雨型 カラー: 赤</p>  <p>MNF20293Z (白色) (ハナマツカ)</p>

施設(詰所)内 開閉器盤



特記事項

一級建築士事務所
株式会社 福満設計
CO. LTD. F. ARCHITECTS. & ENGINEERS
鹿児島県鹿児島市寿八丁目10-10 / TEL. 0994-42-3867 FAX. 0994-42-3885

鹿児島県知事登録 第1-6-8号
管理建築士
一級建築士 福満哲也
登録番号 第96581号

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事 設計図
図名 電灯コンセント設備図

DATE 2026.02 No. E-02
縮尺 (A1) S=1/50-100 (A3) S=1/100-200

特記仕様書

建物概要	構造			
	ORC	OSRC	S	OW
階	地下	地上	1階	
延べ面積	70.00㎡			
建物用途	建築基準法別表第一項 耐震安全性の分類 ○特定の施設 ●一般の施設 地域係数 ●1.0 ○()			
工事項目				
給排水衛生工事		空気調和工事		
●衛生器具工事	○消火工事	○空気調和工事		
●給水工事	○ガス工事	●換気工事		
○排水工事(含通気)	○浄化槽工事			
○給湯工事	○厨房器具工事			
I 一般事項				
1. 本工事は、本特記仕様書によるほか、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版) 同上監修公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)並びに国土交通省住宅局監修の公共住宅建設工事共通仕様書(平成28年版)(以下標準仕様書という)、国土交通省国土技術政策総合研究所監修建築設備耐設計・施工指針(2014年版)による。				
2. 本工事の使用材料の品質、規格、種別等は、本特記仕様書による。				
3. 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用はすべて請負業者の負担とする。				
4. 施工計画書は、着工に先立ち、監督職員に提出する。				
5. 本工事に上記の当該種別技術士を適用する。(但し●印のみ)				
○配管技術士 ○ダクト技術士 ○熱絶縁施工技術士 ○冷凍、空気調和機器施工技術士 [標P-16 1.5.2]				
6. 本工事で、特記事項に定める「立会検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督職員に連絡して立会検査もしくは指示に従うこと。 [標P-17 1.5.6]				
7. 設計図書に明記なくとも関係法令または機器の機能上当然必要となるものについては、原則として請負業者の範囲内で施工する。				
8. 発生材の処理等については、図示によること。 [標P-10 1.3.9]				
9. 本工事の施工に伴う既設建築物の破損箇所は従来になり回復する。				
10. 前払金について				
○契約金額の40%の範囲内で請求することができる。				
○出来高予定額の40%の範囲内で請求することができる。				
【契約会計年度の率は、契約金額の%程度、次年度の率は%程度である				
○建設工事請負契約書第52条第3項を適用し、原則として契約会計年度に翌会計年度分も含めて、契約金額の40%の範囲内で請求することができる。				
11. 中間前払金又は部分払いについて				
本工事において、中間前払金又は部分払いのいずれかを選択するものとする。				
1) 中間前払金				
○中間前払金を選択した場合、部分払いは行かない。				
○中間前払金を選択した場合でも、契約会計年度末には出来高予定額に応じた部分払いを受けることができる。【契約会計年度出来高予定%】				
中間前払金払いは契約金額の20%以内とし、前払金払いと合計額が契約額の60%を超えないものとする。				
2) 部分払い				
本工事で前払金を支払ったものについては2回、支払いがなされていないものについては3回を超えて部分払いをすることはできない。				
12. 「工事カルテ」の作成の必要がある場合(工事請負代金が500万円以上)には、工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督職員に提出し承諾を受けた後に、「財」日本建設情報センターに登録するとともに登録結果(工事カルテ受領書)の写を監督職員に提出すること。(受注時、変更時及び完成時)ただし、期間については契約締結後、土、日、祝日を除く10日以内とする。 [標P-5 1.1.4]				
13. 下請工事における管内(県内)建設業者の優先利用について				
1) 請負業者は、工事の一部を下請けに付する場合は、施工地を管轄する地域振興局等の管内に主たる営業所を有する者を使用するように努めることとする。				
2) 請負業者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不採用状況報告書」を監督職員に提出することとする。				
3) 監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出することとする。				
14. 県産資材等の優先使用について				
1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの(以下「県産資材」という。)の優先使用を努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。				
2) 以下に記載する「指定主要資材」中の県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不採用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。				
(指定主要資材(7品目))				
生コン(レディミクストコンクリート)、コンクリート二次製品、石材類、アスファルト合材、木材、根太、芝				
3) 前項の「県産資材等不採用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。				
4) 監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出することとする。				
15. 各工種の施工にあたっては、関係法令に定められた必要な資格者を配置することとする。				
16. ダンプトラック等による通積搬等の防止について				
1) 工事用資機材等の積載超過の防止を行うこととする。				
2) 通積搬を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。				
3) 資材等の通積搬を防止するため、資材の購入に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。				
4) しごの装着又は品積搬装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に入入りすることがないようにすること。				
5) 「土砂等」を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する「特別措置法」(以下という)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等との協力を図り、同団体等への加入を促進することとする。				
6) 下請け契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるものまたは、業務上申し渡すことによつて悪質な重大な事故を発生させたものを排除することとする。				
7) 1)~6)のことにつき、下請契約における受注者を指導することとする。				
II 特記事項				
1 特殊な材料と工法	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督職員の承諾を得ること。なお、特殊な材料による施工に当該種別の設計工法による。			
2 建設工事との整合	壁面、天井面等に機器取付のため必要な開口部を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に明記のない場合は、監督職員の指示によること。			
3 別契約との関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を促すものとする。疑問が生じたら監督職員の指示によること。			
4 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。			
5 完成図	設計原因を施工現場と一致するよう訂正した後、下記表およびCD-ROMを提出する。訂正した原因は監督職員に返納すること。 [標P-18 1.7.2] (●A-4版1部、●A-3縮小版2部、○A-1サイズ部)			
6 試験成績書	都市ガス設備、液化石油ガス設備は、ガス供給事業者の規定する気密試験成績書を2部提出する。県指定様式による。その他の試験成績書は監督職員の指示による。 [標P-17 1.5.5] [標P-18 1.7.1]			
7 申請書類	本工事の施工に必要な官公署への申請書類は原本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と一緒に提出する。 [標P-5 1.1.3] [標P-18 1.7.1]			
8 工事報告	工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末見込みの出来高等を当月の20日までに監督職員に提出する。(A-4版)			
9 工事の記録(工事写真)	(1) 監督職員の指示した事項及び監督職員と協議した結果について、記録を整備する。 (2) 工事の進捗に当たり、試験を行った場合は、試験を行う場合は、直ちに記録を作成する。 (3) 次の(ア)から(エ)までのいずれかに該当する場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整備する。 (ア)設計図書に定められた施工の確認を行った場合 (イ)工事の施工による隠ぺい等、後日の目視に検査が不可能又は容易でない部分の施工を行う場合 (ウ)工程の施工を完了した場合 (エ)適切ない施工の証明を監督職員に指示された場合 (4) (1)から(3)までの記録について、監督職員から請求されたときは、提示又は提出をする。 (5) 工事写真は原則としてデジタル写真とし、ファイル形式及び画素数については「鹿児島県電子納品ガイドライン(案)」に準ずること。			
10 施工見本	管の接続、ダクトの接続、保温については、原則として見本を整備すること。その他監督職員との協議により必要と認められたものについては、監督職員の指示により見本を整備すること。			
11 工事打合せ	工事打合せについては、電子メールに取り交わすことが出来る。			

項目	特記事項
1 共通事項	
① 環境への配慮	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる機器及び材料を選定するよう努める。 [標P-11 1.4.1]
② 機材	使用資機材は、原則として、JIS・JWWA等標準仕様書に定められた規格品とする。使用機材は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」記載品、または同等品以上のものとする。 [標P-11 1.4.2]
③ 化学物質を放散する建築材料等	塗料、接着剤、保温材等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 [標P-66 1.4.1]
④ 防火区画貫通部	区画貫通の管類は、建築基準法に従い施工する。なお、その際の充填材はモルタルまたはロックウールとし、保温材はロックウールとする。国土交通大臣認定工法(防火パテ等)の使用も可。 [標P-81 2.1.8、監P-290 2.8.1]
⑤ 配管用のスリーブ	地中部分等で水を要する部分にはつば付銅管とし、地中部分で水を要しない部分のスリーブは、ビニル管とする。上記以外は原則として亜鉛鉄板製とするが、柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠とし得る。 [標P-52 2.2.2.7] [標P-81 2.8.1] [監P-290 ~295]
⑥ 専用工具の使用	塩化ビニル鋼管、ポリホリ銅管及び外面被覆鋼管は、帯の継ぎ目は丸のこ機などで切断し、パイプカッターによる切断は禁ずる。ねじ切り機は、自動切り上げ装置付とする。ねじ切りの際には、ねじゲージを使用して適正(JISねじ)に切られているか確認する。 [標P-64 2.5.1]
⑦ ねじ接合剤	給水管、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 1611に規定する水道用シール剤とする。 [標P-53 2.2.28]
⑧ 支持金物類	屋外、ピット内及び多湿箇所での支持金物類はステンレス鋼製とする。
⑨ 外面被覆鋼管の傷部補修	埋設工される外面被覆鋼管(内外面被覆含む)については、継手スリーブ端及びチャック・パイプレンチの傷部分にプラスチックテープを巻くこと。(露出部分は原則不要) [監P-238 2.5.4]
⑩ 鋼管の傷部補修	鋼管(内面被覆鋼管含む)については、ねじ込んだ後、残りねじ部及びチャック・パイプレンチの傷部分に、十分に止めベントンを塗布すること。 [監P-223 2.5.2]
⑪ 排水機引管への接続	原則としてY管接続とする。(Dに配管含む)
⑫ 建物導入部の配管	管のたわみ性を利用した方法(スリークッション)で施工する。エルボ×5 [図P-110]
⑬ 埋設埋設深さ	ビニル管(一般450H・車路600H) 鋼管(一般300H・車路600H) [標P-80 2.7.2、監P-287 2.7.2]
⑭ 土中埋設鋼管類(エラス、コーン)	外面を被覆していない鋼管は、プライマーを塗布のうえ、防食テープ1/2重ね1回巻きをさらにプラスチックテープ(JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm)で1/2重ね1回巻きを行う。また、継手等の部分は、ペトロラタム系の充填材を詰め、表面を平滑にしたうえで防食シートで包みプラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。(施工手順を撮影の上、工程写真に表す。) [標P-80 2.7.3]
⑮ コンクリート埋設給水管・鋼管	プラスチックテープ(JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm)で1/2重ね1回巻きを行う。 [標P-80 2.7.3]
⑯ 埋設管表示テープ	下記の埋設管には、管頂部全長にわたって、粘着付表示テープを貼り付ける。 ●黒結給水管(上水道本管接続部) <紺色> ○給水管(水槽に付) <空色> ○湯水管(受水槽～高温水槽間) <茶色> ○井水管 <白色> ○消防管 <黄緑色> ○ガス管 <緑色>
⑰ 埋設管保護シート	各種管上部(地表から150mm程度の深さ)にニール製保護シート(巾150)を埋設する。(緑水用は除く) [標P-79 2.7.1、監P-285 2.7.1]
⑱ 弁類	土中埋設のガス管、給水管及び消防管の分岐曲り部に設置する埋設標は次のとおりとする。(設置箇所は図示による。) ・未舗装部分は、アルミ製表示盤をコンクリート(200φ×300)で巻き込んだものを、ステンレス鋼でキャップに緊結の上設置する。 ・舗装部分は、キャップに専用工具を用いて設置する。 水槽以降の配管には5K型、その他は10K型。(JIS規格) ○水道事業者指定() 内水をライニングした管に使用するねじ込み式の弁等には管端防食継手の規定に準じた管端フアを備えたものとする。 呼び径65以上の弁は外ネジ式とする。(水道用ソフトシール弁は除く) [標P-42 2.2.1] 呼び径65以下の排水ポンプ防逆流止弁はパイパス付きでもよい。 呼び径65以上の仕切弁、逆止弁はライニング弁とする。 屋内オイルタック及びオイルサービススタックの最高液面以下に設ける元弁及びドレンバルブはJIS B2071(鋼鋼10K以外仕切弁)または同等以上によるものとする。(経消防防署の承認するもの) [標P-42 2.2.1]
20. 屋外露出の弁類	防露・保温の上ステンレス鋼板による外装を施し、弁柄はグリスアップする。
21. 埋設弁類の防食措置	弁側内等の直接土砂に接触しない箇所に弁類を設置する場合は、防食措置は原則不要とする。ただし、水道事業者の指定工法がある場合および、鋼管ねじ部分については防食を行うこと。
22. 機器の防食措置	振動を発生する機器については、ダブルナットで固定し、かつ防振措置を施すこと。 (振動発生機は防振用金具、防振パッドとする。)
23. 可換継手	ステンレス製 水用 管径 25以下 30~50 65~150 200以上 全長mm 300以上 500以上 750以上 11,000以上 油用 管径 20以下 25~40 50~100 全長mm 300以上 500以上 700以上 合成ゴム製(水用) 管径 40以下 50~80 100以上 全長mm 300以上 500以上 700以上 (鋼管で管径40以上は消防法令適合品とする) (鋼製フランジ付) [標P-48 2.2.9]
24. 防振継手	鋼製フランジ付 [標P-47 2.2.8]
25. ユニオン使用	ユニオンは、呼び径25以下の見え掛り配管についても、原則として使用しないこととする。調理器具の接続等ユニオン使用の必要性が生じた場合には、監督職員と協議すること。
26. サービススタックの油面計	○ゲージ式(側圧式) ○ガラス管式(流出防止形) [標P-56 2.3.4]
27. 標識その他	機器類・弁類・保守工具及び配管等には適宜その名称、内容及び矢印等を記入、もしくはプラスチック製札に刷印したものを取り付けること。 (バックシャフト・ピット内など隠ぺい部の配管類は、文字シール貼り付けでもよい) 必要に応じ消防法、ガス事業法、液石法などによる標識(危険物・火気厳禁他)を設置する。 [標P-19 1.7.4]
(例) 弁類に取り付ける場合は、小判型樹脂製札をSUS針金または耐熱インシロックで取り付け、刷り込み文字は 表面:「○○系統」裏面:「○○A(口径)」 ・樹脂製の取り付けの場合は、表面に「○○系統 ○○A(口径)」彫込み、接着剤にて取り付け ・常時閉、閉等の注意書きは、用途に応じて追記のこと。	
28. 保守指導案内書	本工事の機械設備について保守管理上必要な案内書を2部作成し、完成図と一緒に提出する。(A-4版) [標P-19 1.7.3]
29. 産業廃棄物税	本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場へ搬入する産業廃棄物には、(産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 (1) 台風など風水害による現場被害が予想される場合は、事前の現場養生を確実に災害の予防に努めること。 (2) 事前の対策完了報告および事後の現場状況報告を、書面にて監督職員に提出すること。(盆、正月等長期間現場運営を休止する場合も同様とする) (3) 塗装、シーリング材、接着剤その他の化学製品の取扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成したJIS Z 7253による安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。 [標P-9 1.3.5、P-10 1.3.8]
15. 解体等作業石綿対策	解体及び改修作業において、石綿含有建築材料を撤去する必要がある場合には、ただちに監督職員に報告すると共に、作業においては「石綿対策予防規則」を遵守すること。 ※この特記仕様書における参考ページの略号は以下のとおりとする。 標=標準仕様書、監=監理指針、図=標準図 修正履歴: R020511

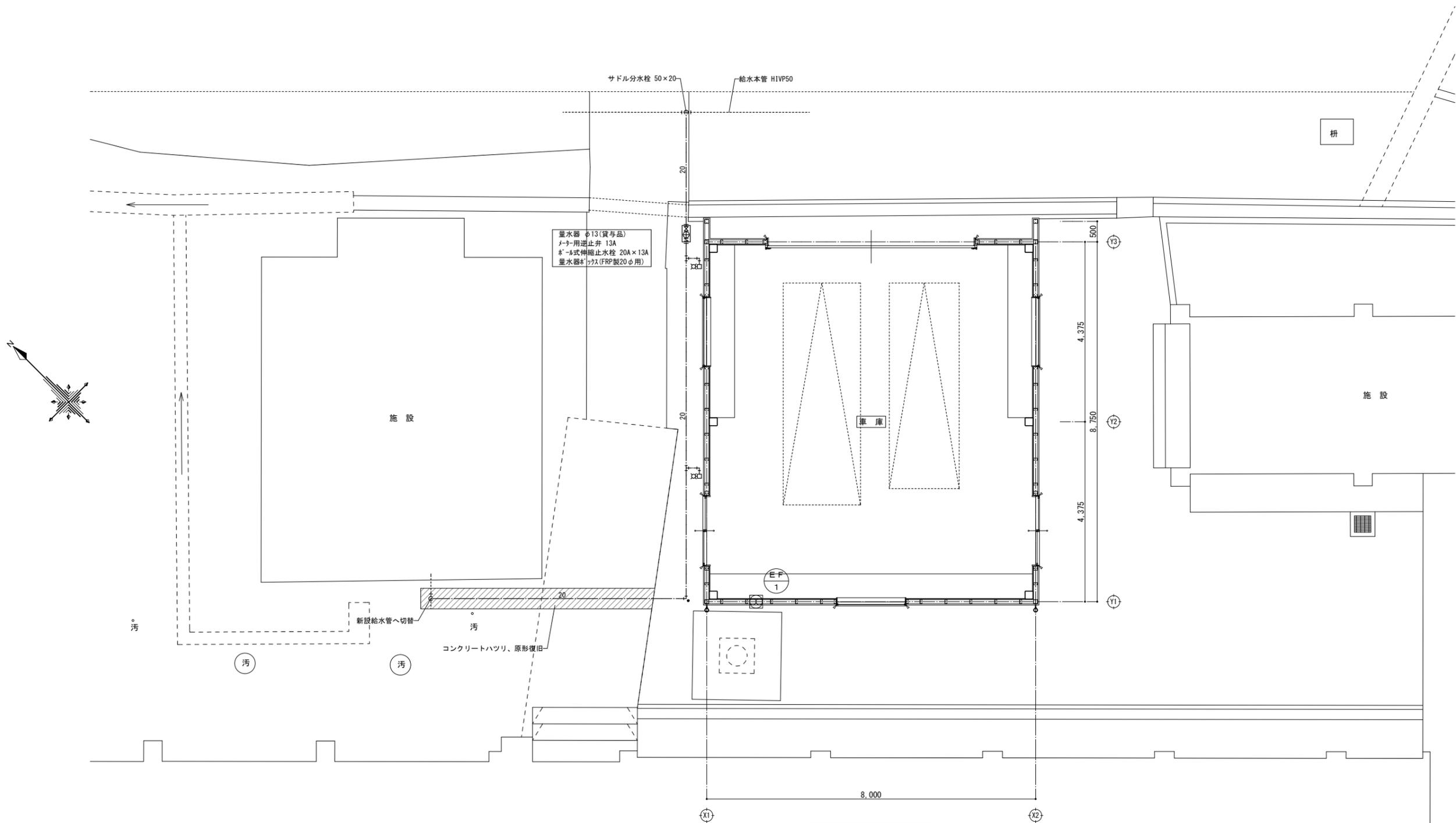
② 衛生器具工事 [標P-249 1.1.1~P-254 1.1.13]	
1. 和風大便器	躯体との継ぎ目材付、給管接続の場合は吊り金物を使用する。和便器と前壁との隙間は、250mm程度を確保する。和風大便器用フラッシュバルブ壁面取り付けの場合はF.L.+800mm程度とする。 [標P-300 2.1.2.7、監P-169、170]
2. 大便器用洗浄弁	○バキュームブレーカー付フラッシュバルブ(ノンホールディング機構付) [標P-253 1.1.8] ○ロータンク(防露型) 洗浄弁接続。 ○電気開閉式 [標P-298 2.1.2、監P-679 1.1.8]
3. 小便器洗浄方式	○フラッシュバルブ ○ハイタンク ○水栓 ○自動洗浄方式 [標P-249 1.1.2、標P-298 2.1.2、監P-669 1.1.2]
4. 標 示 板	○陶器製 ○不要 (器具付風の説明シール等は最寄りに貼り付けること。)
5. 紙巻器	ステンレス鋼板製ワンタッチ形とする。 ○シングル ○標付二連 [標P-249]
6. 水栓類	原則としてJIS規格、JWWA規格(日本規格)適合品とし節水こまとする。シングルレバーは上げ吐水方式。 [標P-253 1.1.6、監P-676 1.1.6、図P-68]
7. シールテープの除去	水栓類と配管を接続した後の、見えがかり部分の余分なシールテープは、カッター等を使用し除去すること。
8. 化粧鏡の表板補強	化粧鏡を壁に取り付けた際の隙間には、鏡の割れを防止するための補強材を設けること。(厚さ4mm程度、ゴムシート等) ○一般型 ○遮音防止型
9. 水栓柱	V8仕様 ○900H ●1, 200H 必要に応じコンクリート根巻き、または壁にバンドにて固定する。
10. 器具廻りのコーキング	陶器類、洗濯機パン等については、原則として器具廻りをコーキング処理すること。
11. 温流水浄便器	洗浄用水加温方式 ○瞬間方式 ○貯湯方式 [標P-254 1.1.13]
3. 屋内外給水工事	
1. 給水方式	引込み付近水圧()MPa ○水道直結方式 ○重力(高温水槽)方式 ○加圧送水方式 ○経路確保方式
2. 水槽類	○FRP製 ○ステンレス製 ○一体型 ○組立型 ○単板構造 ○保温構造) タンク本体は、地震力及び地震力によって生ずるスロッシングによって損傷を起こさないような強度を有するものとする。 2m以上以内外ははこっけ付。 マンホールは内置及び閉鎖錠付。 [標P-266 1.4.1、標P-304 2.2.4、図P-70~79]
3. ポンプ付風呂品	フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 [標P-255~262]
4. ポンプ電動機	屋外・全閉防まつ形、屋内(多湿箇所) 全閉防まつ形、(その他) 防滴保護形 [標P-24 1.2.1]
5. ポールタップ	○鋼板製 ○耐食性のある樹脂等 ○ステンレス製 [標P-51 2.2.2]
④ 屋外給水工事	
1. 継手材	管端防食継手とし、継手受口の隙間には専用テープを使用すること。(ゴムリング方式は不可) [標P-37 2.1.2.5]
2. 量水器	観米メーター ●貸与 ○買取り) 子メーター (貸与 ○買取り) ○集中計装給水装置に使用する場合は、水道事業者の承認を受けたものとする。 [標P-50 2.2.16]
3. 量水器側	呼び径32mmVC-1 (430×310×50HフタMB-1)、呼び径40~65mmVC-2 (710×510×750HフタMB-2小窓付)とする。呼び径80からはMC-3 (1100×710×750HフタMB-3小窓付)とする。 [標P-295 1.8.4、図P-92]
4. 仕切弁類	呼び径25までVC-P、呼び径40までVC-1 (180×180フタB1)、呼び径50~80までVC-3 (300×300フタMHA-P30)とする。呼び径100からはVC-5 (450×450フタMHA-P45)とする。 [標P-295 1.8.2、図P-91]
5. 弁柄、量水器の固定	舗装部分以外に設置する弁柄、量水器類については、コンクリート巻きて固定のこと。樹と蓋とは固定つなぐこと(鎖は消滅品認めつきき上げまたはステンレス製)
6. 伸縮ジョイント	鋼管とビニル管の接続箇所には、エラス(又はフリー)ジョイントを使用する。
5. 屋内外排水工事 [標P-40~P-42、標P-63 2.4.8]	
1. 洗面器等の排水	洗面器および手洗器に直結する排水立管は器具トラップよりワンサイズアップとする。
2. 床下排水口	汚水系統に取り付ける床下排水口直下の曲管は90°長曲管とする。
3. 器具との接続	原則として配管接続とする。(ジャバラ・簡易ゴム接続は不可、専用アダプター使用のこと)
4. 通気金物	通気金物 ○アルミ(耐食性) ○ビニル製 排水通気弁 ○屋内型 ○屋外型
5. 床排水トラップ	トラップ箱は原則として、樹脂製とする。 [標P-293 1.7.3]
6. 屋外排水工事 [標P-295~P-296] [標P-40 2.1.2.6]	
1. マンホールふた	○錫鍮製(OMHA型) OMHB型 OMHD形 名称入り蓋、鎖付とする。 (鎖は消滅品認めつきき上げまたはステンレス製) [図P-36]
2. 汚水・雑排水樹	既設コンクリート樹使用可。深さ1.2mを超える樹には足掛金物(巾≧150以上 防錆処理)を取り付けること。 [図P-93~98]
3. 小口径樹	塩化ビニル ○防護蓋T-8 (内置き付) ○塩ミゲミゲ(SUS鎖共) ○コンクリート巻(蓋呼び径+200) 径≧150H
7. 給湯工事 [標P-37~P-40]	
1. 貯湯槽の材質	○SUS444製 ○ステンレス鋼板製(電気防食装置付) ○ステンレスクラッド鋼板製(電気防食装置付) ○銅製 [標P-273 1.4.3、図P-78,79]
2. 膨張水槽の保温	ロックウール2号 50t、外装はステンレス鋼板(0.3t)
3. 瞬間沸騰器	耐塩処理(○要 ○不要) 配管カバー(○450H ○) 吹出口は歩行面+2,000以上 ○設定温度60℃以下(ガス瞬間沸騰器のダイクト着火方式で風呂の場合)
8. 消火工事 [標P-37~P-40]	
1. 屋内消火栓箱	○1号 ホース掛型とし、鋼製t=1.6mm 操作方法表示付き ○吊操作性1号 日本消防検定協会の規定証書が貼付されたもの ○2号 ○広範囲型2号 [標P-275 1.5.2、図P-90~89]
2. 消火栓開閉弁	45°回転型で1.0MPa型とする(JIS規格)。 ○一般型 ○定圧定流量型
3. 消火栓の保温	フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 [標P-261 1.2.8、図P-176]
9. ガス工事 [標P-310~321、図P-177,178]	
1. 種類	○都市ガス(発熱量 MJ/m ³) ○液化石油ガス(プロパンガス) 発熱量50.2MJ/kg
2. ガスメータ	マイコン型 ○貸与品 [標P-313 2.1.3、P-319 3.1.3.4]
3. プロパン庫	○有 ○特定供給設備 ○無 ○集合装置+転倒防止鎖(鎖はステンレス製)
4. おねじ接合材	ガス配管専用のペーストシール剤を使用すること。
5. 継手材	外面ライニング鋼管継手の受口隙間には専用テープで充填すること。器具接続以外にユニオン継手は使用しないこと。
6. 絶縁継手	外部から建物内へ引き込まれる箇所の付近の露出配管部に絶縁継手を取り付ける。 [標P-315 2.2.5]
7. 施工	有資格者の責任施工とする。使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。
10. 浄化槽工事 [標P-335~352]	
1. 型式	建設省告示1292号(最終改正154号)に指定する構造とする。処理対象人員・処理水量・処理方式については、図示による。
2. マンホールふた	OMHA型 OMHB型 ○鋼網板(4.5t) ○標準FRP ○耐衝撃FRP メーカ一標準を除き全てポルトロック式とする。 [標P-313 2.1.3、P-319 3.1.3.4]
3. 金物類	鋼板製のふたについてはメンテナンスを考慮し、分割を禁ずること。取手付 [標P-347 2.1.27] 支持金物、ポルトナット、その他すべてステンレス鋼製(SUS304)又は、溶融亜鉛めっき仕上げ品とする。
4. ニュートン型浄化槽の埋戻し	槽内に半分程度注水の、良質土にて深さ1/3程度ずつ周囲を均等に突固め水締めを行う。 [標P-351 3.2.1]
5. 標識の掲示	浄化槽工事現場に国土交通省令で定める事項を記載した標識を掲げること。(浄化槽法第30条)
6. 浄化槽設置上の留意	浄化槽設置に係る各工程に、浄化槽設置士が立会い確認している状況で、写真に残すこと。 浄化槽工事の技術上の基準に基づき施工することとし、浄化槽設置士の安全写真を含む工程写真を整備すること。
7. 水質検査	浄化槽使用開始後4~8ヶ月以内に施主が水質検査を行った報告書を確認の上、その写しを監督職員に提出する。(浄化槽法第7条に基づく検査)

① 空気調和工事・換気工事・排煙工事	
1. 設計条件	外 気 室内 ()系統 ()系統 (RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 夏季 ℃ % ℃ % ℃ % ℃ % 冬季 ℃ % ℃ % ℃ % ℃ %
2. 煤煙濃度計	電源はバナー電源(2次)側より取出すものとして配管配線を含む。 [標P-117 1.1.10]
3. ばいじん量測定孔	○煤煙の直線部に径80φの孔 [標P-117 1.1.3]
4. 煙道	鋼板厚3.2mm以上 [標P-117 1.1.3]
5. ダクト	風速(○低圧 ○高圧1 ○高圧2) ○アングル工法 ○コーナーボルト工法(共振・スライド) [標P-189 ~198] フランジ部のダクト端折り返しは5mm以上とし、ダクト折り返し部の四隅にはシールを施す。 [標P-207 2.2.2.3] 厨房、浴室などの多湿箇所の排気風道は、その継目及び継手を外面よりシール材でシールを施し、必要により水抜き管を設ける。 [標P-206 2.2.1、図P-146~151] ※シール材:シリコンゴム系又はニトリルゴム系を基材としたもので、ダクト材質に悪影響を与えないものとする。 [標P-190 1.14.2.6]
6. フレキシブルダクト	建築基準法施行令第108条の2の規定により、不燃材料の規定を受けたもので、十分な可燃性と耐圧強度及び耐食性を有するものとし、空調用の場合、断熱材付のものとする。 [標P-192 1.14.7、P-215 2.2.5]
7. ダクトテープ	JIS H 4160に準ずるアルミニウム箔(厚さ0.05mm以上)の片面に樹脂系接着剤を塗布したテープ状のものとする。 [標P-190 1.14.2.5] 複製テープは不可のものとする。
8. 風量測定口	取付箇所(○送風機に近接した部分 ○外気取入付近 ○取付を図示されたダンプ(近接部分) ※取付辺300以下は1個、300を超え700以下は2個、700を超えるものは3個とする。 [標P-216 2.2.6.5]
9. チャンバー	消音内貼を施す。 [標P-214 2.2.4] OSA・RA ○OA・EA [標P-191 1.14.6]
10. 配管材料	膨張管、空気放散管及び膨張タンクよりボイラへの給水管は、配管用炭素鋼鋼管(白管)とする。
11. 機器類の基礎	パッケージ型空調機室外機 ○防振パット○簡易防振(ゴム被覆ばね) ○専用防振板台(ばね) 防振パットは厚さ15mmとする。 [標P-198 2.1.1 図P-132]
12. 吹出口及び吸込口	原則としてアルミニウム製とする。 [標P-194 1.15.1~1.15.4]
13. 温度計	標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。 ○温水ボイラの温水入口 ○空気調和機器の給気風道、送気風道及び外気風道 ○冷水水管管接(注)及び冷水水管管接(送)の各器具管 [標P-194 1.14.12]
14. 瞬間流量計及び流量測定口	標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。 ○瞬間流量計 ○流量測定口 ・冷凍機の冷水出口 ・ボイラ又は熱交換機の温水出口 ・冷水水管管接の各器具管 ※測用用タッピングは3.2φビード付流量計用とする。 [標P-57 2.3.8]
15. 膨張水槽	ロックウール保温暖(2号)25tを使用し、外装はステンレス鋼板0.3tとする。 [標P-84] [標P-88 3.1.4]
16. 風道フランジ部の保温	フランジ部は保温材2枚重ねとする。または、フランジ高さ+10mmとする。 [標P-92]
17. 換気方式	○第1種 ○第2種 ●第3種
18. パイプフード	●深型 ○浅型 ●ステンレス ●難燃防虫網付き ○ガラリ付き
19. パッケージ型空調機	材質はナイロン樹脂・ポリロン・3.4tとする。 耐塩処理(○要 ○不要) JRA耐塩仕様 (日本冷凍空調工業会標準規格) [JRA9002-1991] (空調機器の耐塩害試験基準)
20. 耐震支持	吊り長さ250mm以上の機器は耐震支持を行う。 [標P-84、監P-299]
12. 保温工事 [標P-84、監P-299]	
1. 保温仕様	保温材、外装材及び補助材の材質仕様は、標準仕様書による。 [標P-84 表2.3.1] 管及びダクト類の外装材は図示によるものとし、保温材は図示がない場合は以下を標準とする。 給水管、排水管、消火管、冷水管、冷温水管 : ポリスチレンフォーム保温材 給湯管、温水管、一般ダクト : グラスウール保温材 防火区画等貫通箇所、蒸気管、排煙ダクト、煙道 : ロックウール保温材
③ 各種試験、調整	
1. 給水設備	(1) 給水装置に該当する管は、水道事業者の規定圧力。ただし、最小(鋼管1.75MPa(17.5kgf/cm ²)、ビニル管は0.6MPa(10kgf/cm ²)とする。 (2) 湯水管、圧送管は当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍の圧力。 【最小0.75MPa(7.5kgf/cm ²)】
給湯設備	(3) 高温水槽以下の配管は、静水頭に相当する圧力の2倍の圧力。 【最小0.75MPa(7.5kgf/cm ²)】 [標P-82 2.9.3] (4) 器具取付後の水圧試験は、住戸内給水管(但し、水道メーター以降とする。) 【0.75MPa(7.5kgf/cm ²)】 (5) 飲料用水タンク設置の場合床面において遊離残留塩素が0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。(1h3に付き2.0(10%希釈の場合) [標P-58 2.4.1] (6) 水圧試験の維持時間は最小60分とする。
2. 消火設備	消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外

衛生器具表				
取付場所	名称	JIS記号・規格	仕様	数量
屋外	水道メーター	13φ(貸与品)	逆止弁、伸縮止水栓(20×13)、量水器ボックス(FRP製)	1
	キー式横水栓	13-F7	ビニル水栓柱(13φ×900)	2

凡例		
名称	記号	使用管材
給水管	---	屋外埋設部：耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)
埋設標	●	土間舗装部：キャッツアイ

換気機器表								
記号	名称	型式・仕様	設置場所	電源			数量	備考
				φ	v	W		
E F-1	壁換気扇	排気用、電気シャッター付	車庫	1	100	35.0	1	
		風量 1000m ³ /h、羽根径 25cm						
		不燃枠、SUS製ウェザーカバー(防虫網付)						



平面詳細図 S=1/50

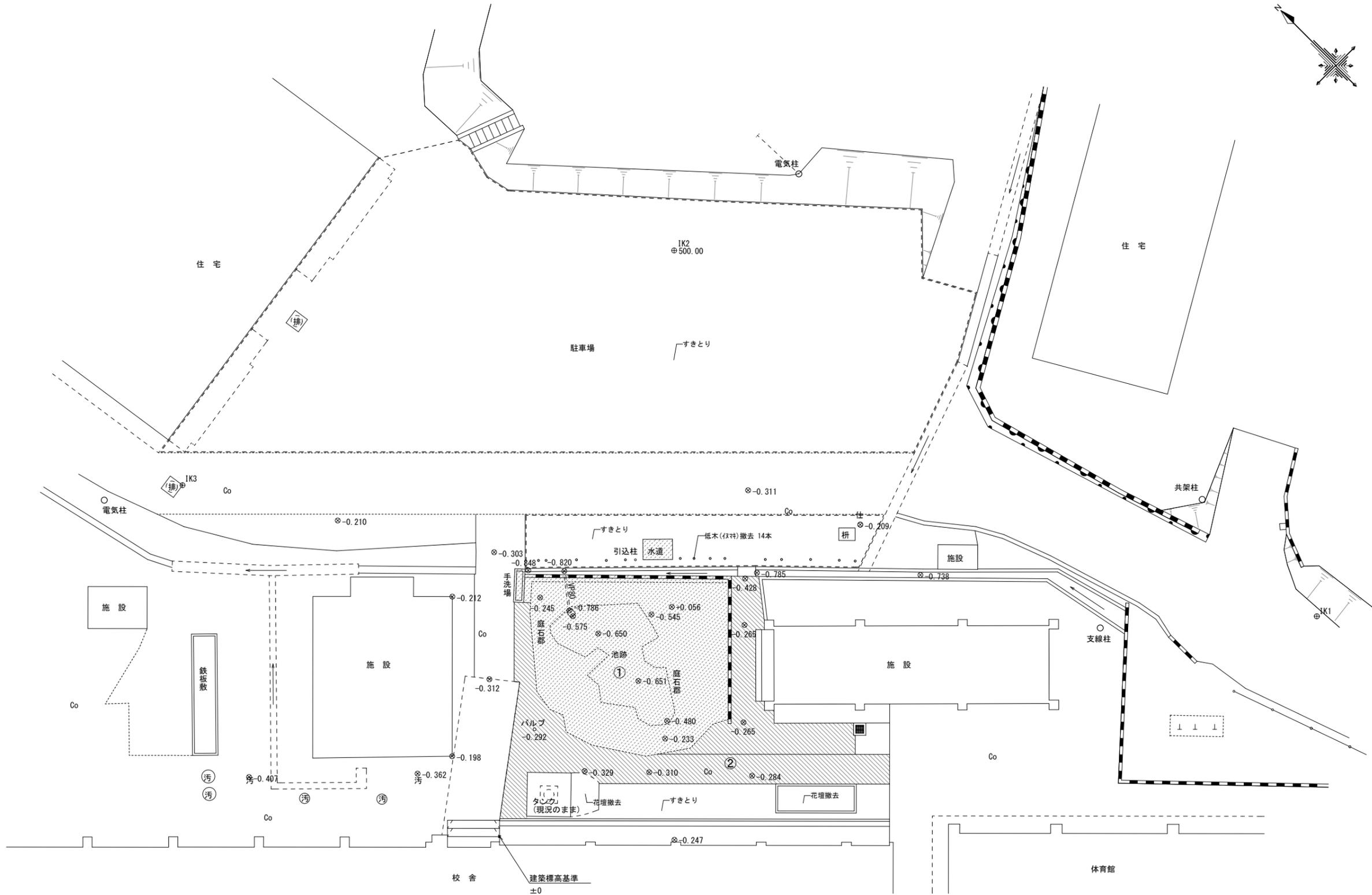
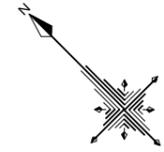
特記事項

一級建築士事務所
株式会社 福満設計
 CO. LTD. F. ARCHITECTS. & ENGINEERS
 鹿児島県鹿児島市寿八丁目10-10 / TEL. 0994-42-3867 FAX. 0994-42-3885

鹿児島県知事登録 第1-6-8号
 管理建築士
 一級建築士 福満哲也
 登録番号 第96581号

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事 設計図
 図名 給水・換気設備図
 DATE 2026.02
 No. M-02
 縮尺 (A1) S=1/50 (A3) S=1/100

とりこわし数量集計表				
番号	名称	数量	単位	備考
①	既存池とりこわし及び造成工事	77.7	m ²	水道・低木処分含む
②	既存コンクリート土間とりこわし工事	61.7	m ²	



現況敷地図 S=1/100

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 福満設計
 CO. LTD. F. ARCHITECTS. & ENGINEERS
 鹿児島県鹿屋市寿八丁目10-10 / TEL. 0994-42-3867 FAX. 0994-42-3885

鹿児島県知事登録 第1-6-8号
 管理建築士
 一級建築士 福満哲也
 登録番号 第96581号

令和7年度 池田分団消防車庫等新築工事 設計図
 図名 外構撤去図

DATE 2026.02
 縮尺 (A1) S=1/100 (A3) S=1/200

No. G-01

外構数量集計表				
番号	名称	数量	単位	備考
①	厚50アスファルト舗装 厚100再生砕石	474.3	m ²	
②	厚70コンクリート舗装 厚100再生砕石	92.3	m ²	
③	コンクリート製集水柵 300角	2	箇所	グレーチング共
④	排水管 VU100	19.0	m	
⑤	スチール製グレーチング (細目、T-14)	10.0	m	クッション付
⑥	ホース乾燥塔 (全長14.4m/12本吊り)	1	箇所	ウインチ式
⑦	コンクリート縁石	34.0	m	100×100

◆ホース乾燥塔仕様

本体仕上・寸法	溶融亜鉛メッキ鋼管 全長14.4m (地上高12.0m)
ポール本体設計荷重	頂部水平許容荷重3.5kN (360kgf)
最大吊り下げ本数	6本吊り×2本セット
ホースの昇降手段	手動ウインチ式
1階あたりの所要時間	1セット約8分

※本仕様は参考とし、監督職員と協議の上決定する事。

